

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	永町 友恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学（旧約聖書）	1	前期	必修	いいえ	87

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>聖書を学ぶことが初めての学生にも、分かりやすくなるように準備いたしました。インターネットを通しての講義なので視覚的に説明するために、ユーチューブなどの教材も積極的に取り入れました。また教会音楽を通して聴覚的にもキリスト教会の雰囲気を味わえるように工夫し、色々なジャンルの教会音楽を紹介しました。さらに聖書の言葉を信じた、キリスト者の人生からも学べるように何人かの人物を紹介して学んでいただきました。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義直ぐに課題を提出する学生もいれば、前期終盤にまとめて提出する学生もいました。成績は少し甘くつけすぎたかもしれません。そのことを反省しつつ、課題の提出や評価をもう少し厳しくして、大学の講義だという自覚を持たせたいと思います。オンラインでの講義で、キリスト教学にとっては講義しにくい面がありました。特に学生から質問を受けることは、オンラインの講義中では非常に難しかったと思います。しかし課題提出の時に質問した学生には、返答で答えたり、学生共通の質問や誤解している場合は、次の講義の冒頭で説明しました。しかし理想は対面講義であり、その対面での講義ができることを楽しみにしております。またキリスト教、そして聖書の入門的な位置づけの講義ですので、授業だけで完結するようにプログラムを組み立てました。しかしこの評価を見る時に、講義内容からの先の学びについて、あまり触れてないことに気づきました。今後は図書館に多くのキリスト教関係の書物があることの紹介や、さらなる学びの方向性についてもアピールできたらと思います。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>この講義の目的は、実際に聖書を手に取り、読んでもらうこと。そして聖書の全体像をつかんでもらう。さらに、この西南女学院大学の創立精神がこの聖書の中にあることを知ってもらうことです。前期は旧約聖書を学ぶことでしたので、神とはどのような存在なのか、聖書の人物はどのような人生を経験したのか。またユダヤ人の歴史を全体的に知っていただくことでした。しかし聖書にあまり興味のない学生がいたことは事実です。その方々に色々なジャンルの教会音楽を通して、キリスト教学に興味を持っていただけるようにアピールしました。またこのコロナ過にあって学生たちが不安を持つ中で、講義の最初の祈り、心休まる体験もできたと思います。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>対面講義とオンライン講義の違いがあるので、対面になった時に、どのように講義を進めていくかが問われます。また今年度は私自身が、講義の初年度でしたので、講義を準備するだけで精一杯でありました。今後、もう一度講義のカリキュラムを全体的に見直し、より良い講義を進められるように改善していきたいと思います。またこの講義は知的面だけの学びではないので、実際に教会の礼拝に参加することや、大学のチャペルをリアルに参加することができたら、より講義の内容が理解できるのではないかと思います。インターネットを通しての講義でありましたので、最大限ユーチューブなどから教材を選び視覚的に見せられたことは良かったと思います。対面の講義になっても引き続きそれらを利用したいと思います。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で全ての講義がオンラインになり、チャペルもオンラインで、そして実際に学生たちが教会の礼拝に参加できない厳しい状態での講義でありましたので、講義を進めるのに非常に難しさを覚えました。私自身最初の年であり、講義の計画を立てるところから始まりました。そのための準備期間が限られていましたし、またオンライン授業の進め方を学ぶところからのスタートにも不安がありました。オンライン講義の手ほどきをしていただいた皆様には感謝いたします。そのような中でも、学生たちに、神、イエスさま、そして聖書のすばらしさを感じていただけたのではないかと思います。またキリスト者の社会的貢献から学び、弱さを覚える方々がキリストにあって生き生きと生活した姿をお知らせすることもできました。また福祉の精神がキリスト教の精神とも共通性があることも学んでいただけたと思います。そして聖書の中の女性にスポットを当て、女子大の学生に聖書登場人物に対して近さを感じていただきました。さらにこのキリスト教の信仰で、この西南女学院大学が創立されたことを分かち合うことができました。しかし大学の講義ですから、さらなるキリスト教学、聖書の学びに進めるよう、今後準備していきたいと思います。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	浅野 嘉延 ・ 東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教と西南女学院のあゆみ	1	前期	必修	はい	89

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目の名称通りキリスト教に重点を置き、また、西南女学院と大学の歴史的転換点においての内部での議論やその後の方向性について講義出来る方々を厳選させていただき、講義を行った。宗教主任補佐のラス・ボーグ先生は本学院についての研究者であるため、動画による3回の講義をお願いした。クラスポートフォリオ7回、及びまとめレポート30点で合計100点とし、すべてGoogle Classroom経由で回収するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の出席率は全ての講義時間において各学科で90%を超えており、出された回答は熱心に書かれ、講義の内容も十分に把握されていた。講義者により多くの画像が配信されたため、印象深い回答がほとんどであった。したがって大部分の学生の成績は優、あるいは秀であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP：この科目は総合人間学の必須科目であり、本学の寄付行為や建学の精神、また、大学の設置趣旨の最初の項目に相当し、CP上妥当であると考えます。

DP：この科目の目標は①西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。②設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。③キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる、であり、DP1-1とDP4-1に相当しており妥当と考える。

上記より、内容的妥当性に問題はないと思われる。

なお、全学科の到達度自己評価の平均値は3.8で、自由記述からも特に問題点は見られなかった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価では、全学科で提出物の評価基準、学習範囲や課題、理解しやすさの平均は4.3であった。しかし、ネット授業のため学生参加の機会、質疑応答の機会が乏しいとの評価だった。次年度、対面授業が再開した際には、学生が発言できる機会を積極的に設けていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年に引き続き本年も遠隔授業を行わざるを得なかったが、遠隔授業参加への積極性はどの学科の学生も高かった。次年度は100周年ということもあり、引き続き、本学の歴史や特色を十分に理解した上で、それぞれの専門科目に取り組み、西南女学院生としての自己形成の土台を築くことができるよう、内容を工夫したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナー I	1	前期	必修	いいえ	87

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は68名、回答率は78.2%であった。学生の受講動機は「必修科目である」が100%、「単位数を確保する」が25.0%であった。この科目は、全体での共通の講義のほか、教員のオムニバス形式(4回1クールで行うので、実際に学生が受講する教員は3名)で行う科目であることから、各教員の専門性を重視しつつ、大学における学びで必要不可欠である「調べる」「聞く」「読む」「書く」ための技能を身につけることを目的として授業を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価について、例年より欠席する学生が多かったことにより、理想的レベル(90点以上)に達した学生は10名と昨年より少なかった一方、再試験対象者は5名、出席数不足は3名であった。到達度自己評価をみると、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.4、「自分なりの目標を達成した」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値が4.0であり、平均値が3.4であった「職業選択の選考になった」を除き、その他の項目も平均値は3.9～3.7を示しており、全体的に昨年度よりやや高めの数値を示している。学習量については、授業の準備を1回も行わなかった学生と6回行った学生はともに20名であり、授業準備を行った学生と行っていない学生について、昨年度以上に極端なばらつきが見られた。図書館等の利用については、図書館の図書、雑誌を利用した学生は9名だったが、インターネットを利用した学生は40名にのぼった。遠隔授業と対面授業が併用して行われたことにより、大学に通う回数が少なく、図書館があまり利用できない影響が出ていると思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「必修科目」、「総合人間科学科目」であり、大学における学習の技能を身につけるための科目である。当然福祉の専門領域を学ぶための技能を身につけるための科目でもあり、内容的には妥当であると考え。②DP,行動目標から見ると、すべてのDPの基礎となる内容を網羅しているともいえる。よって、内容的妥当性には問題ないとする。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値が4.5、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「説明は理解しやすいものであった」、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均値が4.4、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が4.3であり、昨年度とほぼ同様の数値を示している。他方、学習量について、授業の復習を全くしなかった学生は19名、6回以上した学生は20名、授業の課題以外の学習に取り組んだ学生は18名であり、学習量について学生間のばらつきがでている。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習については、「インターネットで調べた」、「ニュースを見た」、「関係のある本を読んだ」などが挙げられていたが、これらはいずれも授業の課題と密接に関連する学習でもある。これらに加えて今年度は「レポートの書き方を調べた」と回答した学生が数名見られた。他方、授業の課題以外の学習に取り組まなかった学生も50名いたが、その理由については、「課題で精一杯だった」との回答が多かったほか、「何をしたらいいかわからなかったから」、「課題と授業で内容を補い合えたから」、「授業で十分だったから」との回答も見られた。学生の意見については、「レポートについて詳しく学ぶことができました」との回答が見られた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>この科目においては、全学共通の総合人間科学科目として「調べる」「聞く」「読む」「書く」技能の習得に重点を置いたが、当初の目標はおおむね達成できたと言えよう。後期に行われる「初年次セミナーII」ではこの科目において培った各技能を基に、研究倫理のほか、さらに「発表する」「討論する」技能の習得を目指し、「初年次セミナーI」「初年次セミナーII」を通じて、専門教育が本格化する2年次以降の学習をより深めるため、大学で学ぶための基礎的な知識、技能を身に付けることを目指す。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期	必修	はい	90

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業においては、学生の興味・関心を引きつけられるように、健康に関する身近な事例をできる限り多く挙げるようにした。</p> <p>毎回の授業において理解度チェックを行うと同時に、質問を受け付けることによって、学生の理解度を把握し、理解が不十分であったと思われる事柄については次回の授業で説明を行った。</p> <p>毎回の授業内容について復習、ならびに復習の過程でさらに興味関心を持った内容について調べ、まとめたノートを提出させることによって、学生の学習の状況を確認した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は72.9（±11.1）点であった。成績分布別にみると、90点以上が11%、89～80点が16%、79～70点が29%、69～60点が41%であった。ほとんどすべての学生が標準的レベルに達しており、そのうち45%の学生が理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」では、「かなりそうだと思う」が19%、「わりにそうだと思う」が41%、「まあまあそうだと思う」が36%とほとんどの学生が肯定的に捉えていた（平均値3.7）。</p> <p>「知識・理解（DP1）」に関する学生の到達度自己評価については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という質問では、「かなりそうだと思う」が51%、「わりにそうだと思う」が32%、「まあまあそうだと思う」が12%と、ほとんどすべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.3）。また、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」という質問では、「かなりそうだと思う」が38%、「わりにそうだと思う」が35%、「まあまあそうだと思う」が24%と、ほとんどすべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.1）。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学の「女性と健康」領域に含まれる科目である。授業では主に定期的な運動がどのようにして生活習慣病を予防し、体力を向上させるか、さらには運動の効果をより大きくするために、どのように運動を計画していくのかなどについて解説を行った。「自分なりの目標を達成した」および「知識・理解 (DP1)」に関する学生の到達度自己評価では、ほぼすべての学生が肯定的な回答を行っていたことから、本科目はDP、CP、カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価では、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」以外の質問では、平均値が3.6～4.5であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。</p> <p>学習量の評価についてみると、予習（1回30分程度以上）については、「0回」と答えた学生が約45%、「1回」が19%、「2、3回」が20%、「4、5回」が9%、「6回」が7%いた。一方、復習（1回30分程度以上）については、「0回」と答えた学生が20%、「1回」が14%、「2、3回」が18%、「4、5回」が18%、「6回」が31%いた。このように20～45%の学生が習慣的に予習・復習を行っていたことから、学習に対する動機づけはある程度行うことができた考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>目標は概ね達成できたと考える。 今後はさらに学生が内容を理解しやすくなるような工夫と、学習に対する動機づけをさらに行なっていく。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
チームスポーツ	1	前期	選択	はい	126

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、からだを動かすことが中心のスポーツ実技の授業であり、学生が積極的に自律心をもって楽しく行えるように、指示は必要最小限にした。また、カロリーカウンターを用いることによって、授業中の歩数や消費カロリーを把握させ、からだを動かすことへの動機づけを図った。</p> <p>チームスポーツでは、チームのメンバーが固定的にならないように、種目が変わる毎にメンバーの入れ替えを行い、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることができるよう工夫した。また、試合後には必ず良かった点や悪かった点、次の試合に向けての改善点（課題）などをチームで話し合わせ、記録用紙にまとめさせることによってチームで活動することの意義を考えさせた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84.2（±7.5）点であった。成績分布別にみると、90点以上が24%、89～80点が53%、79～70点が18%、69～60点が5%であった。すべての学生が標準的レベルに達しており、77%の学生は理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が43%、「わりにそうだと思う」が46%、「まあまあそうだと思う」が11%とすべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.3）。</p> <p>「知識・理解（DP1）」に関する学生の到達度自己評価（質問項目2と3）についても、「かなりそうだと思う」が36～50%、「わりにそうだと思う」が34～37%、「まあまあそうだと思う」が14～22%と、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた（平均値4.0～4.3）。</p> <p>「態度（DP4）」に関する学生の到達度自己評価（質問項目9）についても、「かなりそうだと思う」が38%、「わりにそうだと思う」が42%、「まあまあそうだと思う」が27%と、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた（平均値4.0）。</p> <p>「技能・表現（DP5）」に関する学生の到達度自己評価（質問項目7と8）についても、「かなりそうだと思う」が39～52%、「わりにそうだと思う」が29～33%、「まあまあそうだと思う」が13～27%と、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた（平均値4.0～4.3）。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は総合人間科学の「女性と健康」領域に含まれる1年生対象の科目である。授業では体力向上を目指した運動（ストレッチング、筋力づくり運動およびスタミナづくり運動）の実施方法を実技を交えて解説した。また、チームスポーツ（バスケットボール、バレーボール、フットサル）の技術練習およびゲームを行った。特にチームスポーツでは、授業の最後にゲーム中の良かった点や悪かった点など振り返り行わせ、次に向けてのチームの課題について話し合わせた。その結果、回を追う毎にゲーム中の声掛けが良く行われるようになり、より積極的なプレーが観察されるようになったように思える。このようなことから、本科目は内容的に妥当であると考えている。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が4.0～4.3であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。 本科目では、各種トレーニングおよび球技スポーツを実技として行うため、講義の時のような予習・復習を必ずしも必要としていない。そのことを反映してか、ほとんどの学生は予習・復習を行っておらず、その必要性もないと考えている学生も数人いた。このことに対しては、球技スポーツのルールや練習方法を調べさせ、レポートとして提出させるなどしたいと考えている。 また、日常生活を活動的に過ごすことが、健康や体力の維持・増進につながることを考えれば、学生自身に日々の歩数や消費カロリーを記録させ、それを提出させることは、運動することへの動機づけになると考える。すでに学生の中にはウォーキングや筋力トレーニング、ストレッチなどを行っていた者もいた。来年度は、このような活動的な学生が更に増えるように工夫したいと考えている。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね目標は達成できたと考える。 今後の課題としては、本実習以外でも積極的にからだを動かし、健康の維持・増進に努める学生の数を増やすことである。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	3	前期	選択	はい	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、アニメや身の上相談などの紙媒体、ネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどの新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。ほとんどの学生がジェンダーを自分の問題としてとらえる力は身につけていた。授業の感想においては、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることのできる思考力が確認された。選択科目であり、テーマに関心の高い学生が集まったため意欲関心は高かったと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>新聞記事として表現された内容から、現代社会におけるジェンダーをめぐる問題を社会的解決が必要であること、実現するための施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。ただし、国籍、人種、障害の有無などに関わらず多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉え、女性が自立的に社会参画に関する問題を理解し、課題解決の方策を考える点は不十分な学生もいた。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>オンライン上ではあったが、アクティブラーニングとなるようブレイクアウトルームを活用し、講師と学生、学生同士で意見を交換しながらワークショップ形式で授業を進めることができた。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。身近な問題を社会的施策といった政治や経済と関連する理解を今後はさらに深める必要はある。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	伊藤 直子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保健福祉学入門	1	前期	必修	はい	89

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、1年生前期に配置された必修科目である。保健福祉学部の教育への導入科目となっている。看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種協働の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題の認識を深めていくものである。</p> <p>受講動機には「必修科目である」が100.0%となっており、「関心のある内容である」は28.9%であり、初学者である受講生にはシラバスのみでは、授業の意図する部分については理解されにくいことが考えられる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、82.7点、再試対象者は6名であった。標準的レベルに達した者93.4%、内、理想的レベルに達した者54.3%であった。</p> <p>目標別にみると、知識理解は82.7%、関心意欲は80.6%、態度は72.1%であった。</p> <p>到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」が4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」が4.2、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」が4.2、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が4.1であり、科目の教育目的は一定の成果が出ていると評価できる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、保健福祉学部の教育を学ぶにあたっての必修の導入科目である。 到達度自己評価および最終的な成績評価からも科目の目的は、果たしていると判断でき、内容的にも妥当であると考えている。</p> <p>②DP,行動目標からみでの内容的妥当性 知識理解、意欲関心及び態度に位置付けられた科目である。知識理解は82.7%、関心意欲は80.6%、態度は72.1%であり、概ね内容的には妥当であると考えている。態度については、オムニバス形式の講義となるため、講義開始前の導入について、担当講師との打ち合わせを次年度はさらに詰めていくことが大事と考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」については、平均値4.4であるが、一方で、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」が平均値2.5、「口頭、文書など、なんらかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」が平均値2.9であった。 この結果から、主体的学習を促すための教育方法については、一方的講義とならないよう教育方法の検討が必要と考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目の達成状況については、授業成績及び授業評価アンケートより計画している状況は、概ね達成できていると評価できる。 教員と学生、または学生間の双方向コミュニケーションを取り入れた教育展開について、更なる授業方法の工夫を担当いただく先生方と検討していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生物と生命科学	1	前期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①多くの学生が高校の時に文系コースで学んだと思われるため、講義では高校で学ぶ生物を基礎に、大学での講義に興味や関心がもてるように、「日常生活のなかで気づく体の正常なしくみと異常(疾患)」に焦点をあて講義を行った。また、講義内容を理解しやすいように、わかりやすい言葉・表現を使うよう心がけた。</p> <p>②学生の復習の機会を早期からつくる目的で、講義進行に合わせて小テストを2回実施した。また、ポイントの整理を提示して学びの振り返りを促した。</p> <p>③講義への積極的な参加を促す一案として、教員側から学生に質問をする、また、講義説明後には、学生にスライドを見ながら復唱してもらうなどの取り組みを行った。</p> <p>④また、講義の後半には、質問を受ける時間を十分にとり学生の積極的な参加を促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①総合評価の平均値は70点(±17.1)で、65%の学生が標準的レベル(70点以上)に達し、理想的レベル(80点以上)に達した学生は35%であった。筆記試験の平均点は40/60点(得点率67%)、小テストの平均点は11/20点(得点率55%)、講義後の提出課題の平均点は8.5/10点(得点率85%)であった。今年度は、課題を提出しないものが1名、再試験対象者が3名いた。</p> <p>②学生の到達度自己評価は、「自分なりに目標を達成した4.2」、「学びを深めたいと意欲をもつことができた4.2」、「新しい知識など得ることができた4.6」、「事象を理解する視点を獲得することができた4.2」と学生の到達度自己評価は高かった。</p> <p>③学習量の評価をみると1回30分の予習・復習を4～5回以上した学生が44%・66%、課題以外に学習に取り組んだ学生が78%であった。また、学生からは、「講義で学んだものをまとめ、調べた」、「高校生物の教科書で調べたり、学んだことをまとめた」、「テストに向けて復習した」、「高校生物の参考書で基礎的な部分を調べ授業を受けるようにした」などの意見があった。一方、予習・復習を1回はしたと回答した学生は、22%・16%で、学生間で主体的学習量に差がでていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 生物の基礎を学び専門科目へとつなぐ意味で、一般教養科目として1年生を対象にした本科目のカリキュラム上の位置付けは、学生の自由意見、「高校のとき生物をとってなかったが、関心が高まった」、「生物は苦手だったが理解できるまで追求できた」、「自分たちの体に関すること、病気や症状を知ることができた」などから妥当であったと考える。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 講義内容は、上記に記載した学生の自己到達度の自己評価、知識到達度からみて妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考ええる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①今年度の授業の質評価は、"テストの評価基準の明確さ4.6"、"課題の明確さ4.7"、"説明の理解しやすさ4.5"、"質問を受ける機会を設けていた4.6"と、ある程度の評価を得た。今年度の授業改善の取り組みを来年度も継続し行う。</p> <p>②今年度は、学生間の成績・到達度に差が出ている。教員側から学生に質問をする、また、講義の振り返りとして、学生にスライドを見ながら復唱してもらうなど学生参加型の講義の取り組みを継続し行い学生の積極的な講義への参加を促す。</p> <p>③講義に対する質問時間に加えて、講義進行に合わせて提示したポイントの整理についても質問を促し、学生の講義理解度をアップさせる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>・講義内容に興味、関心を持ち、関連する専門基礎科目につなぐために基礎知識を習得するという目的は、学生の到達度に差が出ており、どちらともいえない達成状況であった。講義に対する姿勢に差が認められており、それが今回の結果につながったと考えられる。欠席なども含め講義姿勢に問題がある学生については、学科のアドバイザーと連携して学生への講義への参加を促すような働きかけをしていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こころと人間	2	前期	選択	はい	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現代社会はストレス社会であると感じる。心理学の分野に期待が高まっている。本講義では基本となる心理学一般の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。それは今を生きる学生に最も必要な「生き方の模索」に関わる問題だからである。昨年度の大きな課題は講義中の集中力をいかに途切れないようにキープさせるかという点であった。このため講義途中で「映像」を多く取り入れた。自由記述などを読むと概ね成功したと理解できる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度に引き続き、全体を通して達成されたという根拠は「定期試験の結果」である。優れた及び良しの合格点を取った学生はほぼ100パーセントに達した。定期試験は記述式がその中心であるが、記載の内容も的を射たものであり、しっかり書かれており理解の進んだものであった。また学生の授業評価アンケートの記述にも「ためになった」「分かりやすかった」「面白かった」などが多数あり知識理解と意欲関心について一定の水準を保ったことが伺えると思った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

昨年度と同様に、毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これに関する「質問の回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく先生の人生の話が面白かった」等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

昨年度の問題点であった、自学自習を促すための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝え方が良いのではないかと授業アンケートの結果からまだまだ改善されていないと言える様である。昨年同様に学習量を高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後さらに試行継続してみたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

講義シラバスで年度当初の学生に期待した行動目標は概ね達成出来たと思う。しかしまだ授業中に集中力が途絶え、睡眠モードに切り替わる学生が幾人が存在する。注意の仕方に工夫をくわえたい。睡眠学習者0を達成するのは容易ではない。今年度取り組んだ映像や教師の発問、討議話題の挿入などまだ工夫の余地を継続して続けたい。がんばりたいと思う。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	後藤 宇生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
経済学入門	2	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>最近の経済学の動向を踏まえ、現実の問題とつなげること。</p>
---	------------------------------------

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価の平均値や中央値と、成績分布により、判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>経済学、特にミクロ経済学における、ゲーム理論やマッチング理論など、最近話題のものを知識として提供し、理解を促した。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方のコメントはほとんどなかった。遠隔授業だったため、出席管理が難しかった。この部分の工夫を考えたいと思う。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね達成できたと考えている。課題として、出席管理と理解度をますような工夫をしたいと思います。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学	1	前期	選択	はい	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は33名、回答率は84.6%であった。受講動機を見ると、「関心のある内容である」57.6%、「単位数を確保する」48.5%、「資格取得に必要である」42.4%であった。昨年度に引き続き内容に関心のある学生が多い。この科目は資格取得に必須ではないが、シラバス・イントロダクションにおいて、「権利擁護を支える法制度」(3年後期)および「刑事司法と福祉」(4年前期)をはじめとする社会福祉士・精神保健福祉指定科目の内容の基礎となる旨を述べている。保健福祉学部3学科同時開講の科目のため、福祉に特化した授業内容にするのは困難であるが、学生が具体的なイメージを持ちやすい事例を挙げて、関心を引き付けるように努めた。加えて、今年度は一部遠隔授業で実施したが、学生の身体面での負担軽減と集中力の維持にも重点を置いた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度も昨年度と同様に、授業中の確認テスト・コメントおよびレポートで成績評価を行った。前期の素点の平均点は75.63点、理想的レベル(90点以上)に達した者は4名、不可と評価した者は2名(ほか、出席数不足1名)であった。平均点は昨年度(73.91点)より上昇している。学生による到達度自己評価については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.5、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値は4.4であった。このほか、DPには加えていないが、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値は4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値はともに4.2、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」、「職業選択の参考になった」の平均値はともに4.1であり、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」以外の項目はすべて4.0以上であった。これは「法学」という科目そのものの特性のほか、講義の中で社会における具体的な事件を用いて説明したことにより、講義のポイントを学生が理解できていることによると思われる。全体的には、数値が大幅に上昇した昨年度とほぼ同水準を維持している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみると、本学は「総合人間科学」科目であり、国家試験の試験科目ではないが、シラバスにも明記してある通り、福祉専門科目である「権利擁護を支える法制度」、「刑事司法と福祉」をはじめとする社会福祉士・精神保健福祉指定科目の内容の基礎となる。また、将来社会の中で、対人社会サービスの担い手となる学生にとって、人々を総合的に理解するための基礎を得るためには重要であり、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないと考え。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値はともに4.5、「説明は理解しやすいものであった」の平均値が4.4、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値は4.1であった。いずれも数値が大幅に上昇した昨年度とほぼ同様の数値を示している。学習量の評価について、講義内で予習・復習のやり方について説明したが、全く予習をしなかった学生は16名、全く復習をしなかった学生は13名で、予復習を行っている学生は昨年度より減少しているが、それでも半数近くの学生が1回以上の予復習を行っている。授業以外に学習していない理由として「他の課題で忙しかったから」、「授業で十分理解できた」、「何をすればいいかわからなかった」などの意見が見られた。他方、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習については、「教科書を読んだ」、「インターネットで制度について調べた」、「気になった法の詳しいことや事例を調べた」などの意見が見られた。学生の意見については、「法学についてしっかりと学ぶことができました」、「日本の法律や制度についての基本的な知識を身につけることができました」、「とても楽しく講義があったという間に終わってしまい悲しいです」との意見が見られた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>総合人間科学科目とする本科目の位置づけから、人間を総合的に理解するための基礎的な知識の形成についてはおおむね達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特にないと考えている。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎英語	1	前期	選択	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>福祉学科の教科書「Basic Faster Reading」は多分野の記事を取り上げた構成になっており、ヒューマンサービスの専門家を養成する教材として適していると思われる。英文や語彙の難易度も学生の学力に適しており、取り上げられている話題も取り組み易いものとなっている。そのため和訳の予習については、意欲的に取り組む学生が多かった。前期は遠隔授業を行った。和訳の予習は、準備した予習用紙を課題として学生のPCへ事前に配布し予習を徹底化した。予習用紙には単語欄と和訳欄と評価欄を設け、各自で予習用紙を作成するように指導した。また予習時における達成感を認識させるために、達成マークを評価欄に記入するように指導した。ちなみに達成マークはABC段階で表記した。この予習に基づき、授業において、予習した範囲の和訳を学生に発表させ、全員で確認作業を行い、和訳の修正、加筆を行った。授業では難易度の高い英文の文法や語彙の解説を同時に行った。予習用紙は授業後に回収し、各学生の学習意欲および理解度を確認する作業を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は92点、再試対象者は0名であった。標準偏差値はSは64名、Aは8名、Bは5名、Cは1名であった。概ね高得点者が全体の約9割強を占め、極端に点数の低い学生はいなかった。必須科目であったため、学生も予習を確実にし、真剣に授業に取り組み、予習と同様に復習を行ったことが期末テストの結果として表れたと思われる。DPにおいては「自分なりの目標の達成」「知識の確認、修正、新たに得る」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の項目では約8割の学生が高く評価している。しかし、専門分野に関する設問では中間値の評価を示す学生が多く、職業倫理や職業選択の項目では約2割の学生が低い評価を示した。これは福祉学科の学生として、専門分野への関心が高まり、英語学習の重要性という意識が希薄になると同時に、英語に対する関心や興味に個人差が出てくる結果と思われる。しかし、福祉学科のCPに明記されているように「豊かな人間性と幅広い教養を身につける」理念として、語学学習は必要不可欠であると考えられる。そのためには、継続的な学習姿勢を身につけさせ、興味や関心を持てるような指導を行うことも必要であると感じた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性：福祉学科のCPに明記されているように「豊かな人間性と幅広い教養を身につける」理念として、語学学習は目的にかなった内容となっており、内容的に妥当性があると考えられる。②DP行動目標からみでの内容的妥当性：DPの特徴としては学期末の試験結果からも明らかなように、到達度自己評価も全体的に高い傾向にある。教科書の難易度、取り上げられた話題への関心度、予習の義務化、語学学習への意欲等が総合的に授業への高い評価につながったと考えられる。DPの「職業選択の参考」では高い評価を示す学生と低い評価を示す学生がおり、質問の趣旨を理解することに個人差がかなりあったと考えられる。福祉学科における英語学習の観点から、DPの「職業倫理」「職業選択」の項目には質問方法の工夫が必要かと思われる。1年生前期から遠隔授業となり、慣れない学習環境の中であるにもかかわらず、非常に真面目に英語学習に取り組んでいたのが印象的であった。これは遠隔授業への積極性の高評価にも表れていた。以上から内容的妥当性には問題がないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①授業の質評価：「テスト、レポート、提出物の評価基準」「学習の範囲や課題」「説明の理解」は約9割の学生が高い評価を示していた。これは予習の徹底を図り、予習の提出を授業課題として義務づけたことが評価につながったと考えられる。②学習量の評価：大多数の学生が予習に時間をかけていることがわかる。特筆すべきは大多数の学生が復習にも時間をかけていることである。真面目に熱心に学習に取り組んでいる姿勢がうかがえる。③情報利用：シラバスを参考にした学生は約7割強であったが、シラバスに沿って授業の計画を立てた学生は4割弱にとどまった。遠隔授業における学習計画の立て方を指導する必要性を感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

福祉学科の学習は専門的な領域の習得のみならず、現実の事象から学ぶべき事、また学ばねばならない事を英語学習とリンクさせて学生に指導することの必要性を感じた。更に英語学習としては学生数が多いために、学生の英語力や興味にばらつきがあるが、これをまとめより満足度の高い授業を提供し進めるかが課題となると感じた。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	納富 末世

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
実用英語コミュニケーション	2	前期	選択	いいえ	56

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をカードの数値より確認すると、「必修科目である」51.9%、「資格取得に必要である」74.1%、「関心のある内容である」24.1%、「単位数を確保する」35.2%となっており、「英語の授業」を避けては通ることができない学生が多い。コロナ禍ではあるが、対面授業が実現したことで感染拡大防止に十分に注意しながら机間巡視することにより学生の理解度を確認しながら授業を進めるよう試みた。</p> <p>②英語に対して苦手意識をもっている場合は勉強方法について、苦手とする文法事項について等、相談あるいは質問を受けつけて苦手意識や弱点の解消につとめた。</p> <p>③授業においては、学生の興味関心および学習意欲を喚起できるようにつとめ、授業時間内で可能な限り多くの学生に質問を投げかけることにより、学習準備の効果と学生の理解度を確認した。</p> <p>④学習準備として、苦手得意に関係なく取り組める単語の意味および読み方の確認、英文の内容把握と音読練習を行うことで授業の学習効果の向上を意図した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点（100点満点）であり、再試対象は0名であった。平均点数が理想レベルに達したことを評価したい。知識理解に関しては、テキストの各Unitの語彙問題はほぼ全員が正解していたことから目標達成したと判断した。技能表現については、ポイントとなる文法事項の理解度をはかる問題の正解率が約70%であり、この数値を上昇させることが課題となる。</p>
--	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 今回、受講動機には「必修である」「資格取得に必要である」「関心のある内容である」「単位数を確保する」といった項目があげられた。いずれも最大限の学習効果を得るに値する動機ではあるが、実際には「単位数を確保する」ために受講する学生と「関心のある内容である」ために受講する学生の学習動機には差があることを認識する必要がある。英語に関心を持ち、また、英語が得意で自らの語学力の向上を図るために授業を受ける学生もいれば、英語が苦手な英語学習は最小限にしたいと願う学生といったようにさまざまな学生がいる中で、本科目での英語学習とそれぞれの人生設計に分断が生じないよう、現段階で福祉系の職に就くか否かを含めて学生が自分の将来をどのように考えているのか等をたずねながら、本科目で努力し、獲得したことは今後のどのような進路においても活かせるのだということが学生に伝わるようつとめて授業をすすめた。カードの「到達度自己評価」で「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目は54名中「まあまあそうだと思う」から「かなりそうだと思う」を含めると53名であり、「いろんな表現を学べた。これからも英語を勉強していきたい」というコメントも見られた。試験の結果においても、受講動機に関係なく学生は一定の成績をおさめていることから内容的妥当性には問題はないと思われる。</p> <p>②DP, 行動目標からみての内容的妥当性</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質の評価」において、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の項目と「説明は理解しやすいものであった」の項目において、「まあまあそうだと思う」から「かなりそうだと思う」の合計が54人全員であったということは評価したい。「学習量の評価」の予習復習については、復習の回数が「0回」が4名（54名中）であった。昨年度よりは改善されたが、復習テストの数を増やす等して復習への動機をさらに高めていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「必修および資格取得に必要である」ということが本科目の主な位置づけから、カードの数字を見ても毎回の授業で準備してきた学生の数は54名中46名と多く、その結果が知識の達成度につながったと考える。ただ、授業の課題以外に学習に取り組んだ学生数が30名に留まっており、今後はテキストの予習と復習といった学習量のバランスに配慮しながら、テキスト以外の課題も提示することで授業以外の学習へと取り組み、学習の幅を広げられるようにしたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中国語入門	1	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 中国語入門の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の72.7%を除いて、③「関心のある内容である」は90.9%であった。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。</p> <p>2. 受講人数が12名で、語学の初級としては妥当と思います。学生一人一人に対して指導ができます。</p> <p>3. 「教員とのコミュニケーションが取れる」という学生の意見から、今学期は事情により、Meetの遠隔授業を行うことになりました。画面を通して学生たちが積極的に参加しました。ただし、対面授業と比べて、不足な部分もあります。今後の授業において、できる限り学生一人一人と会話できる場面や機会を増やしていくことを工夫したい。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>1. A評価は6名、B評価は6名であり、最終的な成績の平均値は「88.1」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（遠隔の定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。</p> <p>2. (DP-1)の知識理解、(DP-5)の技能表現をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わることができる能力を初歩的に習得していた。</p> <p>3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週3回の復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習していることに評価しています。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点3.8点、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.3点、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は3.7点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 「授業の質の評価」について、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。
2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。
3. 「図書館やインターネット等の利用」は、遠隔授業の影響で、インターネットの学習がかなり利用したことが見られて、いい結果であります。授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

1. 中国語入門は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。
2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。
3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	金 光子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハングル入門	1	前期	選択	はい	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>韓国語が初めての受講者が多いことから、ハングル文字でつまづかないように経験上理解しにくいところを先回りして解説するなど、わかりやすい授業を第一に心がけた。また受講動機において、70%以上の学生が「関心のある内容である」との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組んだ。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎週の提出課題についてみると、回数が進むにつれて学習の成果が表れており、後半に向けては完成度の高い内容の課題を出せるようになっていった反面、遠隔授業により目が行き届きにくい点もあったと考える。到達度自己評価の平均点、中央値からみて教育目標はやや到達したと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>本講義は語学学習を通じて韓国という国・地域に興味をもち、言葉に現れる文化の違いなどを理解し、また実際に韓国語を話すことによって異文化への理解を深めながら学習が可能になったと思うので、「豊かな教養のもと、社会を多面的に捉える視点と知識を身につけている」「他者と関わる上で必要とされる基本的なコミュニケーションスキルを身につけている」というカリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に質問を受けて指導にあたったりもした。遠隔授業の進め方については学生からアンケートを取り、意見を取り入れながら授業の作成に臨んだ。授業の予習と復習の時間が若干伸びていないのは宿題が易すぎたか、自主性を重視したためか、評価に直接つながらない学習には積極的ではないと感じた。いずれにしても前期に履修すべき語学の基礎的レベルには達したと思う。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと思う。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語表現法	3	前期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本来リモートによる日本語表現法の講義は、いささか厳しい側面があるが、講義中に必ず一回は学生自らの意見を発表するという課題を与えて進めていった。話す表現、まとめる訓練・・・いずれにしても話す・書く・聞く・読む・という原点を見つめなおし、自身の本当の実力を知る…良い機会になったのではないかと思う。レポートの書き方、敬語の歴史的考察、敬語表現の正しいありかた、具体的形容詞の使い方、句読点の在り方、普通の文の書き方、間違えやすい表現、若者言葉の間違い等々、常識良識の範疇から見つめなおし、社会に出ても恥ずかしくない表現が出来るよう、講義を進めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>個々の差はあるが大体70%から80%は達しているようである。ただし、初めからまずまずできる学生とそうでない学生との差があるので、本来ならばマンツーマン方式で指導できるがリモートの場合はその対策に苦慮した。個人的指導の方法を試行錯誤して、学生の苦手意識を払拭したいと思う。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性は良かったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

対面での講義方法を、リモート流に変更したので、何とか切り抜けれたと思っている。学生の成果はあったようである。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の反応は、たとえリモートであっても把握できたので、今後も根気よく一人一人の成長記録を作り、評価を出し、今後の資料にしたいと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	本間 学

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	前期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>選択科目であり、さらに学生のスキルの幅も大きいことが予想されたことから初心者を中心として時間を掛けて説明し課題を設定した。</p> <p>今回の受講動機をみると「関心のある内容」が54.8%、「単位数を確保する」が64.5%と、少し消極的な理由から受講した学生が多いことが示唆するものであった。できるだけ具体的な例を挙げて、関心を持たせることをしてきた。</p> <p>①著作権、SNSの利用、スマートフォン利用に関して動画を利用して理解を深める工夫をした。</p> <p>②学生が興味を持ち、パソコン等の機器を積極的に利用する姿勢を作るような課題を工夫をした。</p> <p>③PowerPointでのプレゼンテーションにおいて個人の技術習得を目指し個人毎にプレゼンテーションを作成しグループ毎で全員が発表した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の成績の平均値は83.8であり標準偏差は9.1であった。成績は課題(60%)、プレゼンテーション(40%)として評価した課題の提出、出席状況、およびプレゼンテーションの発表状況は良く、理想レベル(80点以上)は上まわっているので良しとすべきだろう。</p> <p>学生の到達度自己評価の平均値は3.5～4.4であり、基礎教科であることから自分が学ぼうとしている専門科目との関連性での評価が低いが、「まあまあ」と「わりに」にのみ集中しているので、善くも悪くもなかったという実感ではないかと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「総合人間科学」であり、選択科目である。大学のカリキュラムポリシーにIT活用能力が含まれること、および成績評価から内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から達成度は十分と判断出来ることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価において、「自分なりの目標を達成した」の平均が4.2、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均が4.4と高かった。学生の成績を踏まえて判断すると、授業の目標は達成できたのではないかと考えられる。次年度に向けては、さらに知識を深める努力をするとともに、質問がもっと増え、学生がより積極的に授業に参加できるよう改善していきたい。</p> <p>②「説明は理解しやすいものであった。」項目で「少しそうではないと思う」との回答が3名いたことから丁寧な説明を心がける必要があるとも言える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。ただし、授業過程を振り返ってみたとき、学生同士、学生と教員でのコミュニケーションをとる時間が足りなかったことが到達度自己評価、授業の質評価から分かったのでオンライン時に質問できるようにしたが、問いかける時間やチャットでのコミュニケーションを取る機会を増やす工夫が必要であるように思うので来年度にオンライン授業がある場合には改善を行いたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	花沢 明俊

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報処理基礎	1	前期	選択	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>高校までの学習状況で、パソコンの扱いに慣れている学生とそうでない学生が混在しているため、課題を平易なものから高度なものまで段階的に用意し、高度な課題の一部は上級者のみを対象としたオプション扱いとした。全授業回のうち、前半は基礎技術の習得を行い、後半はグループワークによる実践的な取り組みとすることで、学習意欲の継続と学習内容に対する興味喚起に努めた。</p> <p>情報関連の知識・技術が今後の学生生活や就職後に必須であることを理解できるよう、課題の内容を工夫した。</p> <p>また、後半のグループワークでは、創造性やコミュニケーション能力の育成といったグループワーク一般の目的に加え、各自が目指す職業の社会的意義や多様な活動についての情報収集を通し、職業そのものおよび身につけておくべき情報技術について、理解を深め実感を得られるよう学習プロセスをデザインした。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績点は、課題の提出やプレゼンテーションなどのプロセス評価50%と、中間・期末試験の点数による達成度評価50%から構成されているが、課題の提出率が非常に高く、目標達成のためのプロセス遂行が確実に行われた。結果として、試験の点数も全体的に良好であった。</p> <p>授業アンケートの到達度自己評価の項目のうち、本科目に特に関係する(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、の結果は良好であった。</p> <p>授業外の課題を行っている学生は少ないが、これは授業の課題量が多く、一部は宿題となるため、授業外の課題を行う必要性は少ないと考えている。実際、自由記述に「課題で十分」という記述が多い。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、全ての学科に存在する学科横断的科目であり、在学中のレポート作成や発表など様々な場面で必要となる。さらには、就職後の実務において、全学科の学生が要求される内容である。このような観点から、学生それぞれの学習準備性の高低にかかわらず、全員がある一定レベルの技術水準を達成すること、授業終了後も技術習得を継続できるよう、受動学習だけではなくグループワークによる能動学習を行うこと、これら2点を柱としている。授業の妥当性が真に問われるのは、3年生、4年生の実践の機会や、就職後であり、このような将来の展望から必要性を理解した受講動機の割合は少ないが、授業を通して理解されるよう努めている。実際、到達度自己評価の項目のうち、(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた、の結果は良好であった。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>完全遠隔授業だったため、Line for Businessによる質問環境の整備を行い、授業中および授業時間外において、数多くの質問を受け付けることができた。また、学生側の定期的なカメラ・マイクオンや、学生間でのディスカッションなど学生間の交流に配慮した。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>課題の提出率が非常に高かったことから、授業目標達成のためのプロセス遂行は、問題なく行われたと考えられる。また、結果として試験においても全体的に高得点であり、高い達成度が得られた。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	古川 洋章

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報の理解と表現	2	前期	選択	はい	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、科目名の通り情報処理に関する科目であるため、事前に必要な前提知識についてシラバスで周知をしている。併せて本年度は、全ての授業回が遠隔授業となったため、初回のオリエンテーションの際に、受講者のリテラシーについてアンケートを実施し、授業計画に反映した。また、昨年度の遠隔授業実施の結果を踏まえて、グループワーク中心の形態から個人ワーク中心の形態となるよう、授業計画へ反映した。</p> <p>本科目の受講動機をみると、「資格習得に必要である」の項目が68.8%であるのに対し「関心がある内容である」の項目は25.0%と、昨年度（「資格習得に必要である」：77.8%、「関心がある内容である」：8.3%）と比較し、受講動機における「関心がある内容である」の割合が大きく増加していた。このことから、受講者の興味・関心や近年の情報社会における知識・技能の必要性について認識されている結果と考えられる。一方で、受講者間における情報リテラシーに大きな差があることが判明した。そのため、次年度はシラバスに受講に必要となるスキルセットについて明示したい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	どちらともいえない				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は71.7(標準偏差：7.6)であり、標準的レベル（成績が60以上を想定）に達していない受講者が全体の約4%（2名）、理想的なレベル（成績が80以上を想定）に到達している受講者が全体の約10%（5名）とばらつきがある結果となった。</p> <p>目標別にみると、知識理解に関しては70.2%、技能表現に関しては71.1%の到達度であった。はじめに知識理解では、前年度の課題であった情報モラルや著作権に関する内容の理解において改善がみられたものの、標準的レベルに達した受講者は全体の70%程度にとどまっております。次年度は内容の理解へ向けさらなるフォローアップが必要であると考えます。</p> <p>次に技能表現では、前年度の課題であった課題の制作において改善がみられたが、ファイル名の誤り等の初歩的なミスにより標準的レベルに達していない受講生が11%程度存在したため、次年度は注意喚起をより一層徹底したい。</p> <p>最後に次年度の授業内容にグループワークを取り入れ、学生が主体的に取り組むことができるよう改善を実施したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「養教一種免」に関連する科目であり、「情報機器の操作」における科目として資格取得の上で必修である。単純な機器操作だけではなく、情報モラルや著作権などの情報を扱う上で必要となる知識や、情報を発信するために必要な技術について習得を目指している。近年の情報社会におけるニーズと情報技術の活用の観点から、授業の難易度は高めであると認識しているが、到達度自己評価の結果や学生の成績状況を考慮すると、内容的には妥当であると考える。</p> <p>一方で、本授業を初心者向けの情報科目と認識して受講している受講者が若干名存在していたため、シラバスに本授業の位置づけを分かりやすく記述する等、次年度のシラバスでは改善を図りたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>はじめに「授業の質の評価」において、「(3)説明は理解しやすいものであった」の平均が3.3と低かった。この原因として、授業実施後のアンケート結果から、「自身の学科にはレベルが高すぎる」との回答が得られた。一方で、本授業は他学科にも提供しており、他学科における授業評価アンケートでは「授業の内容については理解できた」と回答があったことから、次年度は受講者に対するフォローにより改善につなげていきたい。</p> <p>次に授業評価アンケートの学習量の評価では、準備および復習を1回以上実施した割合が70%を超え、学科別集計の08.8%と比較し、大きく上回っている。これは受講者が目標達成に向け積極的に学修に取り組んでいたためと考えられ、非常に満足している。一方で、自由記述より、「授業の内容で十分理解できた」という回答と「授業中の課題で精一杯だった」という回答に二分化されていることがわかった。このことから、次年度は課題について受講者のレベルにより段階的にステップアップできるような仕組みを取り入れたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成目標への到達については概ね達成できた。前年度の課題であった疑問点や問題点に受講生自ら気付くような仕組みの効果については、授業評価アンケートの自由記述より自らインターネット等を用いて解決する姿勢がみられ、一定の効果が確認できた点は評価できる。一方、課題の難易度設定では、前年度のコメントを考慮し調整を行ったが、「簡単すぎる」という意見と「難しすぎる」という意見に二極化した。次年度では、課題だけではなく授業中においても協働的な学修方法を取り入れたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
北九州の技と文化	3	前期	選択	はい	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>3. 授業準備について</p> <p>授業評価アンケート（回答者8名）の受講動機を見ると、4. 単位数を確保する（62.5%）、2. 資格取得に必要である（25%）、3. 関心のある内容である（12.5%）と続く。外発的な動機（3. 関心のある内容である《12.5%》）もなされている層がいることもわかる。授業評価では、5. 情報利用の最初の2項目（1. シラバス利用、2. 計画立案）については、8名の回答者中の1名か2名が肯定的な回答をしているだけである。5学科中で最も低い割合となっており、改善をさせる指導が必要である。昨年度の外部講師の講義内容が、どちらかというと、人文系に傾いていたことがあり、本年度は保健福祉学部系の教育内容に関わる業界の講師の割合を増やした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>4. 学生の教育目標達成状況について</p> <p>全般的には「やや達成された」と考える。採点対象者（20名）の成績分布は、A（50%）、B（5%）、C（44.1%）、E（不可35%）、J（放）10%である。再試受験者はいない。最多層はAである。授業評価アンケートの「到達度の自己評価」では、2.3～3.0の範囲内にある。成績はレポートが100%である。授業評価アンケートの全学科の2. 到達度評価（DP）の10項目の平均を示す。看護：2.9、福祉：2.61、栄養：3.78、英語：4.18、観光文化：3.21。3. 授業の質評価（5項目の平均）は、次となる。看護：3.42、福祉：2.66、栄養：3.76、英語：4. 観光文化：3であり、大まかには昨年度と同じ傾向である。おそらく、コロナ禍の影響が強く出ているのが、福祉学科と栄養学科であろう。評価のJ（放）が出たのは、両学科だけであり、実習で授業出席が困難であり、補講をしても、補えなかった部分があるのかもしれない。自由記述の意見は4名。1.「担当教員の説明がわかりにくい」（2名）、2.「生徒の質問への返答が曖昧」、3.「PPTを配信して、後々見えるように」、4.「北九州中心に話を進め、他県及び他地域の学生にはわかりにくい部分があった」、5.「実習中の公欠届のあり方」等である。1、2については説明を単純化、明確化したい。3については、初回オリエンテーションでも、外部講師のPPT資料等については説明し、その後の授業でも繰り返しました。外部講師には、PPT等の資料をクラスルームに一定期間公開するように依頼しています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

5. DP, CP, カリキュラムマップ上における本科目の位置づけについての評価

本科目は総合人間科学の学部共通科目中の地域創生のカテゴリーに位置する。外部講師を幅広くいろいろな分野から選んでいる。今回招いた5名の外部講師の講義がどれも英語学科学学生の専門性に何らかの形で関わるものであり、将来のキャリア選択に際して、幅広い視野を持たせてくれるものとなった。このようなことから、本科目を3年前期に置くことは、妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

6. 授業の進め方とその向上について

授業評価アンケート（回答者8名）については、「学習の質の評価について」は、2.1～3.1の範囲内にある。「5. 情報利用」でシラバスについて、1. 参考にした、2. 計画の立案の2項目では、「(1) 肯定的な回答は、1、2名である。75%以上の学生は情報利用については何もしていない。しかしながら、外部講師からの授業前の資料を事前に学生に提示することをしていないからであり、シラバスが十分な情報を提供していないことが考えられる。これを改善するには、外部講師からの資料を事前に入手して配布しておくしかない。レポートの内容をもっと明確にするために次を行った。レポートについては、初回授業のオリエンテーションで詳細に説明し、配信しました。最後の2回の授業では、再度書式、見本、参考文献の書き方を説明して、質疑応答を行い、配信しました。また、メールでの問い合わせのやり取りをしました。また授業で、「レポートについて質問はありませんか」と質問をしました。そこでの質問が欲しいと思いました。メールや授業で出た質問にはそこで答えて、またそのやり取りを文字情報として、Classroomに公開しました。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

全般的には、目的は「達成された」と考える。大学の全学科対象の選択科目であり、受講生が多くなることが予測されるが、いろいろな背景の学生がいることを想定して、必要に応じて個別指導等を行うことが必要と考える。3年生以上であり、レポートの書き方の基礎は学科を問わずできていると期待していたが、そうではない学生もいることが分かったからである。しかしながら、教育目標にDP5（技能表現）を含まないこの授業で、レポート作成の基礎として、例えば参考文献の並べ方から指導を行う必要があるのかを自問すると、この科目担当者がそれを担うべきなのかについては迷うが、初回の授業で学生の反応を見て、レポートについては丁寧に説明をする必要があると考える。この2年間は遠隔授業であり、資料配布も遠隔でなされた。端末によっては、資料が開けないなどのトラブルは避けられない。担当者はデジタルの専門家でもないで、その場での対応が困難なこともある。次年度は、テキストは購入してもらうことで、少しでもトラブルを減らしたい。再試対象は7名いたが、受験者がいなかった。再試受験生の単位獲得率は、おそらく75%を超えていたので、受験してもらった。そういう指導をするようにする。全7回の授業で、実習で6回の欠席となる学生もいた。補講で補ったが、日程的にそれらの学生には非常に厳しい結果となった可能性がある。コロナ禍は極めて稀な社会的状況であるが、それに対応するシステムをどう構築しておくか

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ボランティア概論	1	前期	選択	はい	88

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講では、ボランティアや地域貢献活動等の理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアに参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的としたものである。全7回の講義中、現在進行形で活動しておられる、外部講師を5団体招聘して、リアル講義の工夫をした。</p> <p>特に自分自身で活動を行いたいと思うような気持ちを膨らませられるよう、質疑応答の時間を多く設けるように工夫した。</p> <p>初回講義の時には、この講義で何をするかということ、ペーパーにして配布し詳細の説明をした。心構えと題してのペーパー（内容は休まない、協力する等の再確認、外部講師の方々へのマナー礼儀の確認）を配布して関心をもたせた。また、毎回、リアクションペーパーの記入で、自分が何をどんな風に学んだかを振り返る時間を必ず設け、考えたことを文章にて表現させ、次の時間に必ずフィードバックをした。</p> <p>なお、今年度に関しては、保健福祉学部と人文学部の全学科合同でのWeb講義ということになり、多人数かつ少タリアルに欠けるところもあったかもしれないが、学生たちのリアクションペーパーから、また外部講師の先生方の力強いご協力により、十分な教育の提供ができたと思われた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体を通して目標の達成度が達成されたという根拠は、欠席が非常に少なかったということが考えられる。そのことで、学生の意識をしっかり受け止めることができたと感じている。また、リアクションペーパーの中には、Webではあったが楽しい授業であった、普通では知ることができないことを学べた、実際にボランティアを始めた、等々の記載内容のものが多かった。当然楽しいだけではいけないので、毎回必ず振り返りを教員と学生と一緒にやって、このボランティア概論の意義と必要性を高めた。そのようなことから、最終的には全員が学びと感動を深めることができ、理想的レベルまで達成できたものとする。</p> <p>講義時間内だけのものになってしまう可能性もあるので、外部講師（ゲストスピーカー）の団体の事前学習の課題を与え、考えさせて興味を持たせるよう工夫して行った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性については、学生の授業評価アンケートの評価や、最終報告から見て、内容としては妥当と考えられる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しても同様で、内容的には妥当であったと思われる。以上のことから、内容的妥当性に関しては問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由」で、「することがなかった」という回答があった。

地域貢献や社会活動、ボランティア等々の重要性について、より具体的に社会の中での状況を興味深く話していき、可能な限りリアルに伝わるようにして、講義以外の時間でも振り返ることができるような意識付けを深めていきたい。

事前の課題をほぼ毎回課したので、インターネットの利用が多かった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講においては、学生からの自己評価やリアクションペーパー、最終講義の時の全体的感想によって、その達成は理想的レベルであると考えられる。

講義内容もゲストスピーカーの方々のご協力を得て、ウェブ講義ではあったが、シラバス通りに進化した。

次年度も同様な内容で進めていこうと考えるが、時代をキャッチした内容の講義を展開していきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ライフイベントとキャリア支援	2	前期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機としては「単位数を確保する」と「関心のある内容である」が多くなっている。本科目は、学生に今の時期から自身のキャリアや人生設計について積極的に考えることの重要性の理解を促し、必要な知識を提供することを目的としており、単位取得を目的に履修した学生にとって、結果的にこの目的が伝わっていれば問題ないと考えている。今年度は、例年に比べて本学科の履修者が少なかったが、履修者が多かった学科もあり、学科により登校日を分けるという変則的な時間割が、履修するか否かに大きく影響したとみられる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義後に毎回、コメントの提出を求めたが、その記述内容から、多くの学生が真面目に受講し、自身のキャリアと結び付けて考えていることが伺えた。アンケートの自由記述では、他の履修科目の課題に追われ、本科目の予習/復習には時間が割けなかったという意見が多く見られたが、科目の性質上、学科の専門科目よりも優先度が低くなるのはやむを得ないと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

アンケートの「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」や「職業選択の参考になった」という項目で肯定的な回答が多くなっていることから、本科目の目的は概ね達成されていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

今年度はすべての回が遠隔での実施となったが、講義形式の科目であるため、対面の場合とほぼ同様の内容で実施することができた。ただし、授業回数が元来8回しかない科目であり、今年度は7回に減ったために、内容を一部減らさざるを得なかった。アンケートの、授業の理解度などの指標において否定的な評価はほとんど見られないことから、授業の進め方などにおいて特に問題はなかったと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今年度は、昨年度に引き続きコロナの影響で遠隔授業と講義回数の削減という制約を強いられたが、すでに学生が遠隔授業に慣れていたこともあり、スムーズに授業を進めることができた。学生に課したレポートの内容から、学生がキャリアについて考えることを促すことができたと考えている。次年度以降も、社会情勢を踏まえ有意義な知識を提供できるよう努めたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一年前期開講、必修、演習科目であるため、</p> <p>①授業計画、達成すべき目標を分かりやすく伝えるよう努めた。</p> <p>②授業の終わりには毎回、各授業の目的を記した用紙にて小レポートを提出させ、学生の意欲、態度、理解度の把握に努めた。</p> <p>③②を踏まえて次の授業での演習方法や目的説明のあり方を調整するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の最終的な成績の平均値は82.8点であった。</p> <p>殆どの方が標準レベルに達した。学生による授業評価においては、全員が「自分なりの目標を達成した」と答えており平均点は4.7、中央値は5.0であった。1年前期の時点でこのような自己評価ができたことは評価できるものと考えられる。また、知識獲得、視点獲得ができたと答える者が大半であり、専門分野との結びつきを意識しながら取り組むことができたようである。また、意欲のみならず「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.8、中央値は5.0であったことから、スキルを獲得したと強く感じられる学生が多くみられたことは、目標達成に繋がったと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、一年前期開講の卒業必修科目である。大学の教育方針、授業形式、人間関係に慣れ、一年後期からの「専門科目」の演習群に導入していくための重要な位置づけがあると考えられる。</p> <p>②成績評価からは、目標は概ね達成されており、学生の自己評価では達成できたと評価する学生が多くみられたことから、今後の学生生活、専門科目における講義、演習の履修に大いに役立つ体験が得られたと考えられる。</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価は、平均値は4.5～4.7であった。今年度は対面授業、遠隔授業、対面授業と授業形態の変化を求められたが、授業目的と重ねて対面と遠隔でのコミュニケーションのあり方の違いについて検討する機会が得られるなど、学習効果は高かったと考えられる。授業の進め方は適正であり、来年度も引き続き、新入学の学生の状況を個人、集団での理解の様子をみながら、より良い授業展開を図ってきたい。</p> <p>学習量については、30分以上の予習時間を週に1回以上取った者が52%、30分以上の復習時間を週に1回以上取った者は62%であった。また、自発的学習に取り組んだ者は17%であった。「インターネットで調べた」「専門用語を調べた」といったものと、「授業で教えてもらったことを踏まえて会話などをした」「配布資料を読んだ」「授業プリントを見て振り返りをした」といったものがあった。</p> <p>自由記述による学生からの意見に「課題がなかった」との意見が見られたが、出席して活動すること自体が重要であると伝えており、「授業内で体験したことを内省し、自己理解を深めていくこと」を目的とした課題提出を求めたためと考えられる。「何をすればいいのかわからなかった」「どのように取り組むのかわからなかった」という学生もいたが、「授業で教えてもらったことを踏まえて会話などをした」「お友達もできた」という意見もみられるように、入学や引越し等による新たな人間関係の構築の求められる1年前期の時期において、授業で得た知識や技能を日常の実践に生かしていることが想像される。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね達成できたと考えられる。</p> <p>来年度も引き続き、新入学の学生の状況を個人、集団での理解の様子をみながら、より良い授業展開を図ってきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	山本 佳代子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必修科目である」100%、「関心のある内容である」39.3%、「資格取得に必要である」28.6%であった。本科目は、ヒューマンサービスの専門家として基礎的に必要とされるスキルについて学ぶ科目である。受講動機が「必修科目である」が100%であるため、学生に興味関心を持ってもらうことが必要である。そのため、オリエンテーションや講義内で、本演習の学びが今後どのように生かされるか説明するよう心掛けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では、10項目中すべての項目において、平均値が4.0点以上であった。特に本科目における学生が到達すべき目標とも関連する、「コミュニケーションや表現力を高めることができた」平均値4.7点、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」平均値4.6点、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」平均値4.5点であった。これらのことから、教育目標は達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

本科目は、社会福祉士受験資格取得のための必須科目であるとともに、ヒューマンサービス専門家に必要な態度 (DP4)、技能・表現 (DP5) を習得する科目である。学生の目標達成状況、到達度自己評価からDPにおける内容は妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

授業の質評価については、5項目中すべての項目において平均値4.0点以上であった。特に、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」平均点4.6点、「説明は理解しやすいものであった」平均値4.5点であった。今後も学生が、他の学生と交流しながら主体的に学ぶことができる授業を実施していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業評価アンケート結果および成績から、教育目標を達成することができたと考えられた。図書館やインターネットによる文献検索の利用が少ないため、それらの活用を促す課題を検討することを課題とする。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートのうち「受講動機」において、「関心のある科目である」という意見も一定数あるものの、「必修科目である」が多い結果となっている。毎年、このような受講動機となっていることから、説明だけでなく実際に体験できるワークを実施し、学生が関心を持って主体的に学べるよう工夫をした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートのうち「到達度自己評価」に「職業選択の参考になった」以外のすべての項目が4.0点以上となっていた。このことから、授業目標について多くの学生が到達できたと考えていると推察される。また、成績結果からも、概ねの学生が理想的目標を達成することが出来たといえるだろう。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、対人援助の専門知識や関わりを学んでいく学生が、その前提として対人関係における自己の在り方に気づき理解を深めていくことを目標としている。そのため、1年生前期での開講が妥当であるといえるだろう。また、専門知識の習得よりも、実際のワークを通じ体験的に自己の在り様に気づくことを目的としているため、DPについても「態度」および「技能表現」が適切と考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量の評価では、授業の予習復習をした回数が0回である学生がほとんどであった。また、図書館利用をした学生もいなかった。自由記述欄には「することがなかった」「何をすればいいかわからない」との記述があった。</p> <p>本講義は、授業時間中に他者と関わるワークへの参加と、その振り返りを行った。振り返りを授業内に即時的に実施したほうが、ワークでの学習が定着しやすく有効であると判断したためである。また、本講義では知識の習得よりも他者とのかかわり方の姿勢を重要視しているため、授業時間外に授業内容に関する予習復習や、課題に取り組む必要性はなかったと考えられる。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本講義の目的とする他者と協調的に関わる体験や、自分の課題を理解し自己研鑽をする体験、他者と関わる基本的なコミュニケーションスキルの形成についてはおおむね達成できたと考えられる。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉入門	1	前期	必修	いいえ	87

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は福祉基礎科目に位置づけられており、福祉課題への関心を高めることや専門職への動機づけを主な目的としている。授業は、専任教員（5名）と福祉現場に従事している外部講師（5名）で担当している。</p> <p>学生の履修動機を見ると、「必修科目である」（100%）が最も多く、次いで「資格取得に必要である」（55.1%）、「関心のある内容である」（46.9%）の順となっている。授業では、学生がこれから4年間の学習や実習に向けて動機を高めることができるよう、福祉課題の実態や近年の政策動向、福祉現場における支援の実態などについて教授した。また、遠隔授業であったが、一方通行とならないよう、適宜、質問を投げかけるなどの工夫を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体の成績は平均85.2点であり、この点では教育目標は達成されたと考える。各DP項目について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見てみると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（かなりそうだと思う65.3%、わりにそうだと思う28.6%）であり、目標は達成されたと言える。「思考判断」（DP2）は、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（かなりそうだと思う44.9%、わりにそうだと思う42.8%）となっており、目標は達成されたと言える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う65.3%、わりにそうだと思う30.6%）であり、目標は達成されたと言える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（かなりそうだと思う38.8%、わりにそうだと思う44.9%）であり、目標は達成されたと言える。</p> <p>この他、授業の課題以外の課題への取組みについて、「取り組んだ」（61.2%）やインターネットでのホームページの利用について、「利用した」（57.1%）などが見られ、総じて教育目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 全体の平均点は85.2であった。また、学生の到達度自己評価の「意欲関心」に関して、本科目の教育目標は達成されていた。以上のことから、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CPカリキュラム上の位置づけ 本科目の主要な教育目標は福祉専門職への動機づけであり、本科目のCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目の教育目標は達成されたものの、「学習量の評価」を見ると、予習1回以下(46.9%)、復習1回以下(30.6%)となっていた。今後 も引き続き、学生の主体的な学習態度を引き出せるよう授業運営の改善を行っていききたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本年度同様に、次年度も教育目標を達成できるよう教員間で授業内容・展開方法等について、十分に検討・共通していききたい。また、外部講師においても教育目的を意識した授業を展開して頂くよう周知していききたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会調査の基礎	4	前期	選択	いいえ	66

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士国家試験の受験科目であるため多くの学生が参加していた。</p> <p>ただし意欲の点からすると苦手な数学のイメージから、及び腰の学生も多く見られた。統計的技法の習得に十分な数学的技能を備えていない者も多く、「統計の意味を理解する」ことに重点を置いた。数学Iにおけるデータの分析の学習状況は高校によって差が大きいと考えられる。統計の授業のオリエンテーションにおいても、計算が苦手でも必ず社会調査を理解することができるという授業のコンセプトを説明し、学生の動機付けに配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○2021年度平均93.2 秀87.5%、優9.4%、良3.1%、可0.0%、不可0.0% 標準偏差4.55。</p> <p>○ほとんどが9割を超える得点で非常に満足できる結果であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>国家試験に対応した科目であり、一定の基礎的な学習の上に展開する4年次科目として、内容的に妥当性があるとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○本年度の授業は以下の点で特異であった。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) カリキュラム変更に伴う内容の変更とテキストの大幅な改定。(2) 従来の3年次から4年次への開講時期の変更。(3) 新型コロナウイルス感染症による実習時期の変更等により学生のやむを得ない事由に該当する欠席と補講対応が非常に多かったこと。(4) 完全なオンライン対応の授業。(5) 100分×14回授業での再設計。 <p>このため学生がどの程度授業を理解できるか事前に把握することが困難であった。よって本年度は</p> <ul style="list-style-type: none">(1) レジュメだけである程度理解できる教材づくり。(2) オンライン試験向けのプレ問題の作成と解説。(3) 授業内で学生の疑問や学習課題へ対応する。 <p>といった点を中心に全員合格レベルに到達する授業運営を心掛けた。結果を見ると高得点かつ可や不可がないという結果であったが、一</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>○次年度もこの授業だけの達成課題ではなく実習状況や学生の学習状況を踏まえて適切な授業設計を行いたい。</p> <p>○本年度は前期授業の学習を夏季休暇中の国家試験対策講座へつなげ、後期もGoogle Classroomの機能を活用しながら学習補助を続けている。そのあたりの効果も踏まえて次年度の改善を行いたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉行財政と福祉計画	3	前期	必修	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>我が国の少子高齢化が益々深刻化して行く中で、単に現行の社会福祉制度に学ぶだけが学習内容と考えず、現在の財政状況から将来的に社会保障制度、社会福祉制度を持続させて行くことへの困難さを自覚し、いかに福祉対象者へのサービスの低下なく維持し、財政状況が厳しさの中にあっても現在以上となるよう持続させるために財政状況を認識して行くことが重要となることを認識できるようにすることを講義の主眼とした。</p> <p>必修科目であると答えた者がほぼ全員に近かったが、資格取得に必要とした者が5割であったが意欲を見せていると思われる。</p> <p>僅かではあったが学習の準備をしたと答えていた者は国家試験を意識している者だと思われた。</p> <p>自由記述に指導方法についてのコメントがあった。確かにオンライン授業で内容を理解しづらかったとは思いますが、講義中、終了後に意見や質問もさほどになく、学生側にも主体的な参加を求めたい。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の準備性については先に示した通り、2割に止まったが意識し学習する者がいたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

必修科目であるため出席率は高かったが、試験での答案内容は教科書の文言が多く自分の意見、考えを述べる者が少なかったことは残念であった。内容理解について十分とは云えない結果であった。。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

福祉財政から社会の動きを講義したが話が中心となり、小テストやレポートを課し学生の理解を確認することが必要だと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

必修科目であると受講理由に答えた者が多かったことは甚だ残念である。この科目はすべての領域において重要だと考えて講義をしたが認識してくれる者が僅かであったことを反省し次年度以降に生かしたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉経営論	4	前期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の応用と深化」をねらいとした福祉専門科目である。受講動機を見てみると、「必修科目である」が64.0%、「資格取得に必要である」が80.0%、「関心のある内容である」が10.0%となっており、多くの学生が資格取得のための履修である。福祉経営という学生にとってはイメージしづらい領域であるため、新聞記事で時事的な問題を提示したり、実習での体験と結びつけられるような話題を提示したりして、できるだけ学生が身近な内容としてとらえられるよう工夫した。また4年次の科目で国家試験を間近に控えているため、過去問を適宜提示し、授業内容と国家試験問題の内容が結びつくようにした。また毎回のコメントカードにより学生の質問や意見等を求め、次回の講義の冒頭で質問等に答えるなどのフィードバックを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均点は75.3点、中央値は78点、再試対象者は11名であった。評価割合はA評価26.9%、B評価22.4%、C評価16.4%、D評価17.9%、E評価16.4%となっており、D評価、E評価で3割を占めていた。学生の自己評価の「自分なりの目標を達成した」の項目は平均値4.0点であり、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名、「少しそうでないと思う」と回答した学生が5名いた。このことから、目標達成は「やや達成された」と判断した。DP1に関わる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.0点、「事象を理解する視点や考えを得ることができた」の平均値は3.7点であり、目標は「やや達成された」と判断した。またDP2に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値はそれぞれ、3.8点、3.6点であり、目標は「やや達成された」と判断した。DP3に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値は3.6点であり、目標は「やや達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>4. で記したとおり、全体の成績は平均的であったが、学生により開きがあった。本科目は学生にとっては難解な科目であるが、社会福祉士の国家試験科目でもあるため、さらに学生の理解を高めるようなわかりやすい講義内容となるよう工夫を行い、全体の底上げを図っていく必要がある。事例等を用いた学習や、課題への取り組みを通して、さらに学生の理解をうながしていきたい。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>上記にも記したとおり、学生の理解をさらに高めていくような取り組みが必要である。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は、各項目の平均値が3.8-4.2点であった。すべての項目において、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名おり、どの学生にも理解できるような丁寧な説明が必要である。また「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目が平均値3.8と低かった。講義系科目で難しい面はあるが、できるだけ学生が主体的に参加できるよう双方向的な授業を行えるよう工夫していきたい。前年度は遠隔授業での進め方に関して「授業のスピードが速い」などの意見があがっていたが、今年度はそのような意見はなく、概ね改善できていたのではないかと考えられる。</p> <p>学習量の評価において、予復習や自発的学習をした学生は少数にとどまったが、自発的学習の内容をみまると、国家試験に向けての学習をした学生が多く、講義を通して、国家試験への自発的学習を促すことができたと考える。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の応用と深化」をねらいとした福祉専門科目である。福祉経営という学生にとってはイメージしづらい領域であるが、学生への理解をさらに促し、次年度以降も成績の底上げを図ってきたい。4. で記したように授業目標の達成度は「やや達成された」と判断した。さらに学生の理解をうながしていくため、できるだけ学生が身近な話題としてとらえられるような工夫や、事例等を用い、分かりやすい説明に努めたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子ども家庭福祉論	2	前期	必修	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>児童福祉の制度の解説やテストを目的とした授業構成ではなく、歴史を振り返りながら児童家庭福祉が今日に至り、これからの課題を共有できるように授業を組み立てた。対象とする分野が幅広いため、根幹部分の理解と思索が進むように、授業以外のアプローチしてほしい文献や資料等を紹介した。学生に意見の中に積極的に復習を含めて授業に臨んでいたことが伺える内容もあり、受講者全員の満足は充足できないのが残念であるが、方法としては間違っていないと考えることができる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成されなかった	やや達成されなかった		やや達成されなかった	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>定期試験の結果から、平均点を算出すると基準点におよそ3分の1の学生の理解が進んでいなかったことが反省点としてあげられる。遠隔授業のため学生との相互の応答が制限され確認作業もすべての学生というわけにできなかったことに起因するものがあることが考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

解説した内容は概ね妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

教員への意見にある内容、「テキストを使わない、テキスト代の無駄」「ただレジュメを読んでいるだけでどこが大事かわからなかった」「レジュメを穴埋めにしてほしかった」等々にご指摘については、授業開始時に進め方としてテキストの利用法やレジュメの使い方等々詳しく説明したうえで授業を展開した。また授業中に数名単位で理解度の確認を行った。各課題について解説する際にはテキスト当該ページを示して、テキスト該当箇所を明らかにし必要でアクセスしてほしい資料等にも言及した。一部の学生のコメントからは学生がそれに応えていることがうかがえる。「何が重要なかわからなかった」というコメントも、授業の中で「これはキーワードです、必ず理解しておいてほしい」旨は折に触れて話しています。教員の説明や意図が伝わっている人とそうでない人学生がいることについて、これからは十二分に意識したいと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

相当な範囲の内容を14コマの授業を行っていくうえで、関連し合う内容等含めて説明し理解や思索の深化を目指したが、今年度は概ね達成と自己評価しかねる。遠隔授業では授業中の学生の反応が確認しづらいという制限があったが、対面であれば少しは不足部分が補えるのではと考えている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
公的扶助論	3	前期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は54名、回答率は76.1%であった。受講動機を見ると、「必修科目である」68.5%、「資格取得に必要である」61.1%であった。社会福祉士・精神保健福祉士指定科目（本学の必修科目ではない）であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置くとともに、生活保護の被保護者に対して、ネットではびこっている偏見を決して鵜呑みにすることのないよう、生活保護制度の理念・原理・原則や制度の正確な内容、および被保護世帯の実態を正確に伝えることに重点を置いた。加えて、昨年度に引き続き、今年度もすべて遠隔授業で行うことになったことより、学生の身体面での負担軽減と集中力の維持にも重点を置いた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度も昨年度と同様に、授業中の確認テスト・コメントおよびレポートで成績評価を行った。前期の素点の平均点は75.66点（福祉養護教諭コース78.41点、子ども家庭福祉コース65.29点）であった。理想的レベル（90点以上）に達した者は8名、不可と評価した者は1名（ほか、出席数不足1名）であった。平均点は昨年度(75.41点)とほぼ同じであったが、学生間、コース間での成績格差の大きさが目立った。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値がともに4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値が4.0、「自分が学ぼうとしている専門分野について、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値がともに3.9であったほか、「コミュニケーション能力や表現力と高めることができた」を除く項目の平均値はいずれも3.8～3.7であった。全体的に昨年度より上昇している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは比較的高い。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値はいずれも4.4、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値は4.3、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.2であり、数値が大幅に上昇した昨年度とほぼ同水準を維持している。他方、「1回30分程度以上の準備」を行っていない学生は37名、「1回30分程度以上の復習」を行っていない学生は31名、授業以外の課題に取り組んでいない学生は39名で、いずれも昨年度より増加している。授業の課題以外に学習していない理由として「授業内容で十分だと思ったから」、「各回で確認テストがあったため」、「他の課題もあったから」、「何をすればいいかわからなかった」という意見が見られた一方で、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習に「復習」、「わからないところを調べた」、「気になった事例や法律をインターネットで調べた」との回答があった。学生からの意見についても、「全14回の授業で生活保護についての知識を深めることができました」、「様々な公的扶助について新しい知識を習得することができました。それだけでなく、全員が持っている人権についても考えさせられました。授業の冒頭で質問にも詳しく答えていただきありがとうございますございました」との意見があり、遠隔授業ながら、学生の満足度は高かったといえよう。なお、「スライドが全画面に表示されるようにしてほしい」との意見もあったが、これは受講する学生のパソコン等のGoogle Meetの設定次第で改善可能である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特にないと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
医療福祉論	2	前期	選択	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一般市民としての教養ではなく、利用者、当事者、患者へのかかわりを専門職として行うならば、現実社会において起きている事象に興味を持ち、知識を蓄えることを願って具体的に指導した。受講動機で、「関心のある内容である」が22.0%と低く、一方で、「資格取得に必要である」が66.1%、「単位数を確保する」が23.7%に受講動機があり、期待に近づけることが出来なかったのは残念であった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価DP一応の理解は出来るものの、「まあそう思う」が主な回答になっており、評価は高いとはいえないが学んだ成果として到達できたと考える。しかし、「知識を確認したり、新たに得ることができた」と答える者がいたことは喜ばしい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

到達度自己評価DPの平均値が3.5を超え一応の理解は出来るものの、「まあそう思う」が半数を占め評価は高いとはいえないが目標は到達できたものだと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

シラバスに沿い、教科書を中心に進めたものの、結果として1セッションごとに講義が終わらず、理解しづらかった点は反省する。しかし、実践的な話に対しての興味を持ってくれる学生もおり、今後は話とともに区切れ良く講義を進めて行くことにする。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の進路がいずれの領域になるにしても、医療は切り離せるものではなく、むしろ学び得ておくべきことだと思う。可能な限り実践現場における問題や起こりうることなどに対し即応できる知識の習得を考えると、話が多くなってしまったことに対する反省とともに今後においても具体的に学ぶことがどのように反映するのかを指導して行きたい。数は少なくとも学習達成していることで評価されていると考える。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
就労支援サービス論	4	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の展開」をねらいとした福祉専門科目である。受講動機を見てみると、「資格取得に必要である」が72.4%、「関心のある内容である」が20.7%、「単位数を確保する」が27.6%となっており、資格取得のための履修であることがうかがえる。前述のとおり本科目は社会福祉士指定科目であるため、授業はできるだけ養成テキストに沿う内容で進めると同時に、新聞記事で時事的な問題を提示したり、DVDなどの視聴覚教材を用いたりして、学生が就労支援の実際をイメージ化できるよう努めた。加えて、障害者や生活困窮者への就労支援の場で実践を行っている講師を招き、就労支援の具体的内容について事例などを提示してもらい、就労支援への意欲関心を高められるようにした。</p> <p>また国家試験も意識化できるよう、過去問を適宜提示し、授業内容と国家試験問題の内容が結びつくようにした。また毎回のコメントカードにより学生の質問や意見を求め、次回の講義の冒頭で質問等に答えるなどのフィードバックを行った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は78.9点、中央値は83点であり、再試対象者は3名であった。カリキュラム改訂により、3年次後期から4年次前期の科目へと移行したため、学生の理解度が上がり、成績の向上につながったと思われる。評価割合はA評価29.4%、B評価32.4%、C評価8.8%、D評価20.6%、E評価8.8%となっており、A評価、B評価で6割、D評価、E評価で3割であった。また、学生の「自分なりの目標を達成した」の自己評価では、平均値3.6、中央値4.0であり、「やや達成された」と評価した。</p> <p>DP1に関わる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考えを得ることができた」の平均値は3.9-4.0、中央値4.0であり、DP2に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値は3.7-3.9、中央値4.0であった。DP3に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均値は3.9、中央値4.0であった。これらの点から「やや達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>4. で記したとおり、学生の成績、自己評価からは内容的には妥当であったと考えられる。本科目は社会福祉士の国家試験科目であるため、さらに学生の理解を高めるようなわかりやすい講義内容を工夫していく必要がある。事例等を用いた学習や、課題への取り組みを通して、さらに学生の理解をうながしていきたい。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>上記にも記したとおり、概ね内容は妥当であったと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価では、全ての項目の平均値4.1-4.3、中央値4.0-5.0となっており、概ね妥当であったと考える。ただ全ての項目において「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。すべての学生が理解できるような、より丁寧な説明の工夫をしていく必要がある。</p> <p>学習量の評価では、予復習、自発的学習とともに行った学生は多くなかったが、自発的学習を行った学生の内容をみると、就労支援に関してインターネットで検索した学生や、国家試験の学習を行った学生がいた。今後も学生の予復習や自発的学習に結びつくよう、講義内容を工夫していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は4年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の展開」をねらいとした福祉専門科目である。制度論が中心の科目ではあるが、就労支援の実際をできるだけイメージ化できるよう工夫し、学生の意欲関心を高めて、自発的学習をうながしていきたい。またわかりやすい説明を心がけ、学生の理解を促していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
司法福祉論	4	前期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は42名、回答率は85.7%であった。受講動機を見ると、「資格取得に必要である」69.0%、「必修科目である」38.1%、「単位数を確保する」26.2%であった。なお、本科目は社会福祉士指定科目ではあるが、本学の必修科目ではない。4年生対象の科目であり、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験を受験する予定の学生が多いことから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、主な支援の対象者である保護観察対象者も社会の一員であり、先入観や偏見を抱かせないことに重点を置いた。なお、今年度から2024年度より変更される社会福祉士・精神保健福祉士指定科目「刑事司法と福祉」の内容に準拠する内容に刷新した。また、今年度も昨年に引き続きすべて遠隔授業で行うことになったため、学生の身体面での負担軽減と集中力の維持にも重点を置いた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度も昨年度と同様に、授業中の確認テスト・コメントおよびレポートで成績評価を行った。前期の素点の平均点は76.73点、理想的レベル（90点以上）に達した者は4名、再試対象者は0名であった。昨年度(73.20点)より平均点は上昇している。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.0、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値がいずれも3.8であった。他の項目の平均値も3.4-3.7のの範囲内にあった。全体的に昨年度より平均値がやや上昇している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生がほとんどであり、学生の講義に対する動機付けは非常に高い。履修者の過半数が理想的レベルであることから、内容的には妥当であると考え。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値はいずれも4.2、「説明は理解しやすいものであった」の平均値が4.0で、大幅に数値が上昇した昨年度と同様の数値を示している。他方、「1回30程度以上の準備」を行っていない学生は28名、「1回30分程度以上の復習」を行っていない学生は21名、授業以外の課題に取り組んでいない学生は26名であった。いずれも昨年度よりやや増加している。授業の課題以外に学習していない理由として「時間がありませんでした」、「授業で十分と判断した」、「確認テストを毎授業行っていたため」などの意見が見られた。また、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として「インターネットで関心のある課題を調べた」、「更生保護に関する新聞記事・論文の拝読」、「国家試験問題」などの回答があった。学生からの意見について、「受ける側も教える側も大変なオンライン講義で、様々な工夫で集中力を途切れないようにして下さりありがとうございました。特に100分の講義時間に休憩を取り入れて下さったのでメリハリのある時間を過ごすことができました」、「講義は分かりやすく、また合間合間に休憩があるため、オンラインでも集中して取り組むことができます」など、遠隔授業ながら、満足度の高いコメントが見られた。他方、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が不透明のため、従来の試験を行わず、レポート中心に成績評価を行ったが、「テスト方式の方が全体的な理解が深まり、国家試験対策に十分有効でした。テスト方式を今後検討してほしいです」との意見もあつ</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>福祉専門科目であり、かつ社会福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれもについてはある程度達成できたと考えており、現時点で改善すべき点は特にないと考えている。ただ、成績評価については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつも、試験方式に戻すことも検討する。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
家庭支援論	4	前期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については「資格取得に必要である」62.5%、「関心のある内容である」37.5%と、「単位数を確保する」25.0%と、授業への関心にはばらつきがみられた。また、家族を主題として取り扱う科目は3年次まででないため、学習準備性においては実習での個々の経験や各資格ごとの専門科目によって個人差があると考えられる。学生の学習意欲を維持・向上させながら、新たな知識や事象を理解する視点を得ることができるよう、多くの具体的事例や視聴覚教材を用いるなどの工夫を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「到達度自己評価」によると「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値がいずれも4.8、「専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」「専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」がいずれも4.6、「専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」が4.4であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は保育士資格取得に必要な科目であると同時に、福祉心理養護教諭コースの学生も履修できる科目として位置づけられており、知識習得と同時に、学生自身が知的好奇心を働かせて学びを深める意欲をもつことにつながる科目であると考える。このような点において一定程度の成果が得られたことから、内容的には妥当であるとする。</p> <p>②DP,行動目標からの内容的妥当性 それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性に問題はないとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>最終学年の授業であるため、単なる知識理解に終わらず、様々な社会事象に関心を向け、多角的な視点から捉えようとすることの重要性や面白さに学生自身が気づき、さらに学びを深めることに対していかに意欲を高めていけるかが課題であるとする。授業の質の評価では、4.8~4.9の評価を得たが、学習量の評価や図書館利用等において課題の残る結果であった。さらに改善に取り組んでいきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成度自己評価、授業の質評価等が示す数値と、学生の授業への取り組みや提出物などから、教育目標はある程度達成できたと考える。さらに学生の学びを深める意欲を高め、自発的学習に結びつくよう工夫していくことを来年度の課題としたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅱ	2	前期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>必修科目であり、学生の授業への関心・学習準備性にはばらつきがあると考えられる科目である。昨年度は大半の授業がオンラインでの実施となったため、「対面での演習授業を受けることを楽しみにしていた」と語る学生がいる一方で、対面で演習科目に取り組むことへの緊張や不安・ストレスを抱える学生がいることにも注意を払いながら授業を進めた。オンライン受講で音声途切れた経験やなかなか集中して取り組むことができなかったことなど、昨年度の授業における理解が十分でない部分があると感じている学生にも配慮しつつ、これまでの知識の確認、修正補足を細やかに行うよう心がけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価の平均値は4.4～4.6であった。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」「専門分野で必要となる技術を身につけることができた」においては平均値が4.6であり、14人中10名の学生が「かなりそうだと思う」と回答している。一方で「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.5であり、「かなりそうだと思う」と回答した学生は14人中8名と知識・意欲項目と比較してわずかに少なかったが、教育目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は福祉専門科目の導入にあたる科目であり、必修科目である。学生の授業への関心や学習準備性にはばらつきがみられたものの、授業への取り組み、達成状況においては大きな成果が得られたことから、内容的には妥当であると判断できる。</p> <p>②DP,行動目標からの内容的妥当性 それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は4.3~4.5であった。自身のコミュニケーション力に課題があると感じている学生が少しずつ達成感や自己効力感を得られるよう、グループディスカッションをサポートすることを心がけた。一人ひとりの学生の意見表明をしやすいするために、授業の説明の中でポイントを明確にすること、議論の焦点を絞ること、各自の意見を引き出すような工夫を加えることによって、授業の回数を重ねるごとに学生間の議論が深まり、様々な意見が出されるようになった。グループディスカッションにおいて多様な意見が出されることの重要性、他者の意見に耳を傾けることがさらにディスカッションを発展させていることなど、何気なく行われている行為の中に、コミュニケーションの重要な要素があることを捉え、評価することを大切に授業を進めていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成度自己評価の結果と学生の授業への取り組みや提出物から、教育目標はある程度達成できたと考える。演習科目が理論系科目の知識理解を促し、学生の学びを深める意欲を高めることにつながるよう、さらに改善に取り組みたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅱ	2	前期	必修	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、社会福祉士指定科目及び必修科目となっている。授業評価アンケートにおける学生の受講動機を見てみると、「必修科目である」(94.7%)、「資格取得に必要である」(73.7%)、「関心のある内容である」(31.6%)の順となっている。また、「単位数を確保する」(31.6%)も見られ、授業への関心・動機が低い学生が一定数、存在している状況にある。</p> <p>こうした中、本科目では、対人援助職に不可欠な基礎的コミュニケーション能力や面接技法を主に教授した。授業では、学生の学習への関心・意欲を高められるよう、支援事例の検討、ロールプレイ等を活用し、参加型の授業となるよう意識した。また、グループワークを積極的に取り入れ、学生相互の意見交流が活発化するよう工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度評価から見ると、「知識理解」(DP1)については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う63.2%、わりにそうだと思う36.8%)であり、目標を達成したと言える。「思考判断」(DP2)は、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う63.1%、わりにそうだと思う31.6%)であり、目標を達成したと考える。「技能表現」(DP5)は、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(かなりそうだと思う47.4%、わりにそうだと思う52.6%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う57.9%、わりにそうだと思う42.1%)となっており、目標を達成したと言える。</p> <p>一方で、学習量の評価(予習0回36.8%、復習0回15.8%、授業の課外以外の学習に取り組んでいない57.9%)、図書館の利用状況(図書・学術データベース利用なし100%)からは、学習時間の確保や学習意欲の向上の面で課題があることがうかがえた。</p> <p>以上のことから、全体として教育目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 学生の学習意欲向上への課題は見られるものの、授業評価アンケートにおける学生の到達度評価からもDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は対人援助の基礎的技術（特にコミュニケーション技術、面接技術）を修得する科目である。これらは3年次開講の相談援助実習において不可欠な技術であり、CPおよびカリキュラムマップ上に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>既述のように、図書館の利用状況や予習・復習といった学習量の確保の面では課題が推察された。昨年度に引き続き、学生の動機づけや主体的学習態度を促す授業内容・展開を検討する必要があると考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目における教育目標はある程度達成されたと言える。しかし、学習への動機づけや学習量の確保と言った課題も明らかとなった。こうした状況はここ数年の課題となっているため、担当教員間で協力しながら、状況の改善を図っていきたいと考える。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習 II	2	前期	必修	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①必修科目であり相談援助演習を担当する教員と同じ内容で演習を行ったが、内容が難しい部分については説明を施す等した。</p> <p>②自由記述に「面接技術について、自分なりに調べた」「授業中分からなかったところを詳しく調べた」と答えた者がおり調べ学習をしたものと思われる学生がいたことはよかったと考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>相談援助演習が講義科目ではないため、演習時間内において学生との関りが中心となる。その為、到達度自己評価、授業の質評価において平均点は高く、学生が学び得ているものとする。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

「まあまあそうだと思う」以上の評価がされ平均値も3.2以上であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

他の科目との関連性を示し、今学んでいることがどのように関わるのかを調べ学習などで自己学習をさせるように取り組む必要があった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

複数の教員が担当する為、同様のことを行ってはいても同じ評価は出ない。今後指導方法についての整合性を図りたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅱ	2	前期	必修	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次の必修科目であるが、社会福祉士指定科目でもあり、3年次の「相談援助実習」に向けた社会福祉の初歩的な専門的知識、技術を習得するための科目である。受講動機を見てみると、「必修科目である」が93.3%であり、「資格取得に必要である」は53.3%、「関心のある内容である」は26.7%で、例年に比べ、受講動機が高いクラスであった。本演習では、グループワークやロールプレイを用いた体験学習や、事例を用いた援助方法の検討を行う。演習ではできるだけ実践場面を想定し、ロールプレイを多く取り入れた。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントを次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均点は81.2点、中央値は80点、学生の到達度自己評価は「自分なりの目標を達成した」の平均値が3.7点となっており、目標は「やや達成された」と評価した。DP1にかかわる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値は、4.3点、3.9点であり、目標は「達成された」と判断した。次にDP2にかかわる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値は4.3点、4.1点であり、「達成された」と判断した。最後にDP5に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.0点、4.1点であり、達成されたことと判断した。「職業選択の参考になった」も平均値4.1点であり、相談援助職への動機づけを高めることができたことと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は社会福祉士資格の指定科目であり、「社会福祉の専門を学ぶ」科目として位置付けられている。4. にも記したように、社会福祉的な視点や考え方を得たり、専門分野における課題を検討する力や、判断する力を得ることができたという学生の自己評価からは、概ね内容的に妥当であったと考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>4. に記したように内容的妥当性には問題がなかったと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価では、平均値4.2-4.5点、中央値4.0-5.0であり、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかった。今後も学生に対してわかりやすく丁寧な説明を心がけていきたい。「学習量の評価」では、復習、自発的学習をした学生が半数程度であった。自発的学習の内容を見てみると、「インターネットで関連事項を調べた」や、「面接の練習をした」などの回答があり、演習を通して自己学習を一定うながすことができたと思う。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、3年次の「相談援助実習」に向けた社会福祉の初歩的な専門的知識、技術を習得するための科目である。4. に記したように学習達成度の自己評価から目標は達成されたと考える。また6. に記した授業の質評価より、演習の内容は概ね問題なかったと考えるが、今後さらに多くの学生に自発的学習をうながせるよう工夫していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目（3年次対象・選択）の1つであり、相談援助演習Ⅲ（2年次後期）及び相談援助演習Ⅴ（3年次後期）と連動し、教員5名のオムニバス形式で展開している。主な内容は、各教員の専門領域（障害福祉、高齢福祉、児童福祉、医療福祉、地域福祉）における事例を活用し、支援内容の検討やグループディスカッション、ロールプレイ等を行っている。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「必修科目である」（73.3%）が特に多く、次に「資格取得に必要なものである」（56.7%）が見られた。一方、「関心のある内容である」は0%となっており、学生の関心・意欲等を高める授業内容・展開を工夫する必要があると考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体の成績は平均82.1点であり、この点では教育目標は達成されたと考える。各DP項目について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見てみると、「知識理解」（DP1）については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」（かなりそうだと思う43.3%、わりにそうだと思う43.3%）であり、目標は達成されたと言える。「思考判断」（DP2）は、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」（かなりそうだと思う26.7%、わりにそうだと思う60.0%）となっており、目標は達成されたと言える。「意欲関心」（DP3）は、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」（かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う53.3%）であり、目標は達成されたと考える。「態度」（DP4）については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」（かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う43.3%）であり、これも目標を達成したと言える。「技能表現」（DP5）は、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」（かなりそうだと思う20.0%、わりにそうだと思う66.7%）、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」（かなりそうだと思う13.3%、わりにそうだと思う50.0%）であり、目標はやや達成されたと考える。</p> <p>以上のことから、教育目標は達成したと考える。しかし、学習量の評価（予習0回80.0%、復習0回60.0%）や図書館の利用状況（図書・雑誌や学術データベースを利用しなかった100%）からは、学生の主体的学習態度の涵養という点で課題が残ったと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 学生の到達度自己評価による教育目標の評価結果（「達成した」）や全体の成績（82.1点）の現状から、DP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CPカリキュラム上の位置づけ 本科目は相談援助の専門的視点や態度、知識・技術を実践的に修得するものである。これらの学びは相談援助実習（3年次）の展開において不可欠であり、本科目のCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>教育目標は達成されたと評価できる一方で、学生の学習量の確保や主体的学習態度の涵養という点では課題が残った。既述の通り、本科目は相談援助演習Ⅲ・Ⅴと連動しながら各専門領域の援助実践を学ぶ科目である。今後は明らかとなった課題について担当教員と共有し、改善策を検討していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本年度、科目の教育目標は達成された。今後も引き続き担当教員間の連携を図り、授業内容・展開方法の質の向上を目指したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ソーシャルワーカーが対面する人々は自分が選ぶものではない。どのような人であっても関わり続ける者であるから、受容し、クライアントに寄り添いその人の問題を解決調整していくことが望まれる。よって、演習では短い事例を読み解き、事例の行間に隠れている人々の思いを理解出来るよう、感受性高く理解することに心掛けた。7回を担当し困難ケースの事例を読み解き、学生らの価値観や偏見を出させたことが達成度の評価が高かったことに繋がったものと判断する。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	「自分が学ぼうとしている専門分野」に対する理解ができたことへの評価が3.5以上であり成果はあったと評価する。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由記述に「支援の失敗例を知ることが出来た」成功例のみではなく援助の未熟さによる成功体験ばかりではないことを理解してくれた学生もいた。クライアントに寄り添い事例を読み解くように指示していたことをりかいしてくれたものだと思う。また、到達度評価において「わりにそう思う」が半数以上であり到達できたと判断する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

演習であるため数は少数であるが、学習量の評価において事前準備と復習をした者がいた。授業の記録を自主的に行ったものが8割いた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

事例を検討することに不慣れでこちらから解説してしまうことが多くなった。学生の主体性を引き出すように取り組んで行く。。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみると、「必修科目である」が65.2%、「資格取得に必要である」が73.9%、「関心のある内容である」が17.4%であった。本演習は相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴと連続しており、学生はすでに相談援助演習Ⅲを履修している。また本演習は「相談援助実習」と同時進行で行われるため、学習準備性は一定程度あると考えられる。本科目では、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を通し、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。演習ではできるだけ多くの事例を用い、「相談援助実習」で用いられる社会福祉の視点や職業倫理、援助技術を習得できるような内容となるよう工夫した。また相談援助の実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを通して課題解決を導く演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は81.4点、中央値は80点であり、学生の到達度自己評価では、「自分なりの目標を達成した」の平均値が4.0点であった。ただし「少しそうでないと思う」と回答した学生が2名おり、目標は「やや達成された」と評価した。DP1にかかわる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値は4.5点、4.3点であり、目標は「達成された」と判断した。DP2にかかわる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値は4.3点、4.2点、DP3にかかわる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値は4.2点、DP4にかかわる「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値は4.2点であり、「達成された」と判断した。DP5にかかわる「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値は4.2点であり、「達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本演習は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置付けられている。4. に記したように、専門的知識の習得、課題解決能力、判断力、学びへの意欲、コミュニケーション力に関する学生の達成度の自己評価からも、内容的妥当性に問題はなかったと考える。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>上記同様、内容的に妥当であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価では、各項目の平均値4.3-4.5点、中央値4.0-5.0であり、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はいなかった。今後も学生にわかりやすい丁寧な説明を心がけていきたい。学習量の評価をみると、予復習、自発的学習を行った学生は少数であった。自発的学習の内容としては、「講義に関連のある制度や専門用語を調べた」等の回答があり、今後はより多くの学生が講義や課題等を通して、自己学習を行えるよう促していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。 4. に記した学習達成度の自己評価から、本演習の目標は概ね達成できたと考えられるが、6. 授業の質評価から、学生の自発的学習をうながしていけるよう工夫していく必要がある。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、これまでの相談援助系の科目を通して学んだことを踏まえて、1いま地域で起きている福祉的課題の実情・社会的背景、2課題を抱えた人々(当事者)の状況、3社会福祉士による具体的な支援内容、4社会福祉士に求められる社会的役割について、主に事例検討を通して理解を深めることを本授業の目的とした。主には以下の点において授業準備に配慮をおいた。</p> <p>① グループワーク等を中心に、基礎的な視点に基づき、本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。</p> <p>② 初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。</p> <p>③ 講義内容の振り返りとして、レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。</p> <p>④ 本講義の特性上、福祉的な問題の理解や実際のコミュニケーション技術の方法等の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全員が標準的レベル及び理想的レベルに達した。具体的には、2「到達度自己評価」によると、中央値4.0に対して、全体的に中央値の水準であった。(2)「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、(3)「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」等が平均値4.3、(5)「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、(6)「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」が平均値4.2であった。一方で、(1)「自分なりの目標を達成できた」が平均値4.1であった。3「授業の質評価」は中央値の水準であった。</p> <p>本科目は、相談援助に携わる上で、①社会的問題を抱える家族の実情の把握、②福祉的課題や問題の実情の把握、③社会福祉士による具体的な支援内容の理解、④社会福祉士に求められる社会的役割の理解、⑤社会福祉士に求められるコミュニケーション技術に関する知識について捉え、技能表現にて捉えた知識を演習課題を通して表現する練習に取り組んだ。今後も現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、相談援助の技法、専門職としての価値・倫理を基盤により高度なコミュニケーション技術を理解できるように今後も務める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の専門および実践の展開を学ぶ位置づけであり、必修科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目は相談援助職を目指す学生を対象に、社会福祉士に求められる知識や技術を学ぶ科目である。そのため近年の福祉的課題や問題の実情を把握するとともに、社会福祉士がどのような倫理と価値をもち、実践するのかが等の理解のために、グループワークを中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の本学における社会福祉士・精神保健福祉士・養護教諭・保育士の実習に向けての横断的な知識と技術を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による社会福祉士の在り方や実践・方法論を注察する必要があるが、2021年度の講義に関しては、学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価からみても全体的に一定の水準を保っている。自己目標・職業選択に関する達成度が比較的低く、方法的妥当性の問題である。しかし、3年生前期の段階では今後の履修状況において学びながら、自己内省を深め自己決定をしていくものであるため、本科目を学んでの今後の学生の成長を注察したい。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題を提示し、学生とのコミュニケーションを介して、学んだ内容を</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成できた」と「職業選択の参考になった」が共に平均値4.0と全体数値よりも低かった。本年度は、コロナウイルスの感染拡大防止の観点により、遠隔授業での実施に取り組んだ。地域社会における福祉的問題について具体的な事例を取り上げて、考え、話し合い、発表する機会をもったが、遠隔対応であるため具体的なイメージをもちづらかったと考えられる。科目の性質上、社会福祉における基礎的な内容をおさえるため、次年度に向けた関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示したうえで、相談援助場面において社会福祉士が社会的にどのような支援を行うのか、社会的な役割を果たすのか等、事例を提示して検討を加えて授業に参加するよう更に促していきたい。</p> <p>学生の意見として、授業の配布資料が多いという意見もあった。本科目は福祉的課題を抱える当事者等の事例を取り扱うとともに、法律・制度・サービスといった広範な情報量を取り扱う性質があり、講義内容の要点を整理する必要性から、課題を通して講義の学びをまとめ、整理することに重点を置いた。本科目においても、内容を整理し、次年度の講義に生かしていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、「福祉専門科目」では、社会福祉の専門および実践の展開を学ぶ位置づけであることから、相談援助における専門的知識の形成と基礎的なコミュニケーションについては概ね達成できたが、ソーシャルワーカーによる地域支援の在り方（住民組織化、地域内の支援機関との連携・協働など）について関心意欲及び思考判断の面で課題を残した。この点は、3年次の相談援助演習Ⅴにおいて社会福祉士が対応する事例の検討や演習活動を取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出していきたい。</p> <p>以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	梶原 浩介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉に関する制度とサービス	2	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①メンタルヘルスの課題を抱える当事者を支える制度やサービスの仕組み等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。</p> <p>②初回講義の際には、本講義の全体像を示し、科目内容のポイント、今後の講義展開等について学生に教示した。</p> <p>③8コマ目には、これまでの講義内容の振り返りとして、レジュメ資料を作成し学生に共有した。おさえておくべきポイント等を整理のうえ、学生の理解度を把握したうえで、今後の講義の展開に生かすよう努めた。</p> <p>④本講義の特性上、法律上の制度やサービスに係る知識の理解が求められるため、モデル図や要約したものを新たな教材として作成した。また、教科書やレジュメではイメージしにくい内容については、視覚教材を併用して学生の理解を促した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点により、全体を通して遠隔授業を実施した。そのため本年度はレポート課題による学生の理解度等の把握に務めた。その結果、全員が標準的レベル及び理想的レベルに概ね達した。</p> <p>目標別にみると、知識理解に関しては43%、思考・判断に関しては25%、関心・意欲に関しては23%、態度に関しては8%、技能・表現に関しては2%であった。本科目は、法律、制度、サービスの観点からメンタルヘルスの課題を抱える当事者を支える知識について問うものである。そのため知識を理解し、その知識をもって思考し、判断することが求められる。特に実習教育にあたっては、本科目で習得する学びが基礎的知識となるため、参加学生には本学の養成教育との関連性について指摘するとともに、学ぶ上での意欲・関心、態度の醸成に努めた。</p> <p>精神保健福祉に係る法制度、サービスについては、広範な情報量となるため、現代の社会福祉問題に関連させ、社会福祉士・精神保健福祉士の社会的な役割を示すことで、今後も学生の理解を促していきたい。具体的には、視覚教材の活用、事例の引用など、具体的な内容と照らし合わせながら、法律、制度、サービス等に関する最新の情報について理解できるように今後も指導に努める。</p> <p>学生による授業評価においては、学習量の評価において可能な限り、授業内での口頭説明・レジュメ資料での教授に努めているが、広範な情報量となるため、その点は課題として捉え、改めて要点を整理する等、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「精神保健福祉関係科目」では、精神保健福祉の基礎を学ぶ位置づけであり、選択科目である。授業準備の欄でも記述したように、本科目はメンタルヘルスの課題を抱える当事者を支える制度やサービスの仕組み等の理解のために、講話法を中心とした講義の展開が主であった。3年次以降の本学における実習に向けての必要な知識を概観しながら、重要事項をパワーポイントやレジュメ資料等でまとめるよう努めた。広範な内容であること、今後の社会状況の変化による法制度・サービスの動向を注視する必要があるが、2021年度の講義に関しては、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から表現技能に関する達成度が比較的低かったが、メンタルヘルスに対する制度・サービスの表現の機会が少なかった点では方法的妥当性の問題である。今後の講義内容にて、学生間にて演習課題を提示し、コミュニケーションを介して、学んだ内容をアウトプットする機会をもつことで学生の本科目に対する学びを促したい。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、(2)「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と(4)「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.4と全体数値よりも高かった。本年度は、事例や課題を提供することで、遠隔での授業参加ではあったため、自分で考えることはできても、同級生と話し合い、発表する機会が少なかった。次年度に向けて関心意欲及び思考判断の行動目標をより具体的に示すうえで、事例を事前に提示して検討を加えて授業に参加するよう促していきたい。 学生の意見として、授業の配布資料が多いという意見もあった。本科目は法律・制度・サービスといった広範な情報量を取り扱う性質があり、講義内容の要点を整理する必要性から、課題を通して講義の学びをまとめ、整理することに重点を置いた。次年度の講義に生かしていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、「精神保健福祉関係科目」では、精神保健福祉の基礎を学ぶ位置づけであることから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、関心意欲及び思考判断の面で課題を残した。この点は、後期の精神保健福祉の関連科目（精神障害者の生活支援システム）を通して、事例の検討や演習活動を一部取り入れることで、学生自身の主体的な学びを促し、他の学生間との意見交換及び発表を介して、学ぶことの意欲を引き出していきたい。 以上のことを踏まえ、可能な限り考える時間をとること、復習課題を意識的に提示するようにすることを加えていきたい。また、適宜、授業内容を整理することで、授業中に課題を行う時間を増やすように努めたい。配布物に対する学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	3	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であることから、他の社会福祉士や精神保健福祉士の受験資格科目との関連性を考慮して講義を行った。</p> <p>具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、1, 2年次での開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、定期試験の件、社会福祉士の実習に伴う補講の件（結果コロナ関連にて延期にはなったが）、理解を深めるための専門職団体のWebでの研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、関連キーワードの確認テストを実施したり、前期のみの講義で、28コマあることから学修状況確認のために、14回目あたりに講義中に中間的な小テストを行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p> <p>なお、昨年度に続き今年度に関しても全てweb講義での対応となり、学生の反応を直接確認することはできなかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達していた。従って、標準的レベルには達成できているものと思われる。また、定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に成績評価を行った。</p> <p>また、80点以上が半数を占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけでなく、幅広く、司法や障害福祉、精神保健福祉（メンタルヘルス）、貧困等々の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、精神保健福祉士の国家資格を取得するための専門科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。</p> <p>また、精神保健福祉士の国家試験の受験資格を取得しない学生の受講もあったが、メンタルヘルスや障害福祉、医療福祉領域に興味があるということで、意欲を感じられた。</p> <p>学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。</p> <p>以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度も昨年度同様に、授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができることができる」の平均点が低かった。どうしても今年度はWebでの講義中心であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、経年度の反省から可能な限り事例等の導入をし、視聴覚的なDVDも含めたアクティブな活動を入れ込む努力を行ったが、工夫が足りなかったのかもしれない。昨年度同様ではあるが、次年度に向けて更なる工夫をすることを課題としたい。学術データベースの利用に関しても、利用の仕方からのインフォメーションを行ったにもかかわらず、昨年同様殆どなされてない状況であるので、具体的に示していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するための必須科目であり、精神保健福祉士養成レーンの学生の受講が多かった。2年次での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて講義を行ったが、2年次に精神保健福祉に関する他の講義等を受講していない学生（進路変更者等や、メンタルヘルスや障害福祉領域、医療福祉領域に関心を持つ者）も受講していることから、前半部分は2年次の復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、後期にこの講義のIIが設定されているので、それに引き継ぐような関連性を持って講義を行った。</p> <p>また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供したりDVDの視聴をして検討を行ったが、さらなる方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めたと感じられる。次年度も引き続き、予習復習に関して具体的な指示を出すようにし、理解を深めていく。Web講義ではあったが、対面講義同様の効果はあったものと思われる。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	高口 恵美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助演習Ⅱ	3～4	三期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が66.7%であり、続いて「資格取得に必要である」が75%、「関心のある内容である」が16.7%と受講動機は低い科目である。精神保健福祉士を目指すうえで必要な知識を得て、人に伝えるといったプレゼンの場や、意見を交換しながら理解を深めるといった交互交流を主とした演習の場を設定した。併せて、事例検討を導入し、理解を深めた事例を基に実践場面を想定した演習を行い、小グループでの取り組みを導入し気づき合いを促し、関心が高まるよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価では「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」「専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目で、すべての項目において平均値3.7以上である。学習量については、発表のための調べる時間が負担になったという意見もあるが、専門職として必要な知識を調べ誰かに伝えるというスキルを高めるために必要であると考え、今後も継続したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

カリキュラムマップ上の位置づけから見て、本科目は精神保健福祉士を目指すうえでの「必須科目」であり、相談援助の基本となる技術を身につけるための科目であるため内容は妥当であると考えている。グループワークを中心としているが、安心して積極的に発言出来る環境や雰囲気になるよう促したい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

授業の質評価について全体的に平均値を上回っている。学生さんが進路選択などに参考となるような、具体的対案や提示が出来るよう、伝え方など工夫をしながら、今後も学生が自主的に自学に取り組むことが出来るよう促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

精神保健福祉士としての基本的な知識と技術の習得に向け、必要な情報を調べてまとめる、誰かに伝える、テーマについて考えディスカッションする時間を多く設けた事から、学生の精神保健福祉相談援助に対する理解や関心が高まったと考える。しかし、さらに具体的場面を想定した演習などを取り入れ、実践力の向上に努めていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
発達アセスメント演習	3	前期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機では「関心のある内容である」が最も多く、受講学生の多くが実習や就職後において活かせる知識と技術を身につけようと意欲的に受講していることがわかった。講義においても、具体的な発達検査や知能検査の概要を紹介するだけでなく、検査場面を具体的に提示するなどして、オンライン授業ではあるものの、実践的学びとなるよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された		どちらともいえない	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績をみると、BからCの成績に入る学生が多く、授業目標は「やや達成された」～「どちらともいえない」に当てはまると考えられた。具体的なイメージが持てるよう事例などの提示も行ったが、遠隔授業のため実際に検査を実施する体験を提供できず、「思考判断」「技能表現」が授業目標で設定してたほどには到達することが難しかったと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

本来の授業内容では発達検査や知能検査の実施体験を通し、発達アセスメントの視点を身に着けることが目標である。この授業内容および目標においては,設定されたDPは妥当であると考えられる。

また、実習を控えた3年生に実施することを考えると、開講時期、授業内容とDPそれぞれ妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

オンライン授業という形式においても、より多くのグループワークを設け、検査実施体験や被検査体験を提供できるよう工夫すべきであったと考える。また、感染予防対策に十分配慮しながら、対面授業日に検査道具を見て確認できるような時間や場の提供を行うことで、より学生の理解を深めることが出来たと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

来年度以降もオンライン授業での開講となった場合は、学生の体験的な学びを補償するため、グループワークの活用や授業時間外に発達検査道具を確認できる場の提供を行うなどの工夫を行っていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
発達心理学Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機によると、本授業は、「関心のある内容である」「単位数を確保する」とした学生がともに66.7%で、「資格取得に必要である」、「GPAをあげる」とした学生が16.7%であった。</p> <p>本講義は、2年前期開講科目である。学生は1年前期に「心理学概論Ⅰ」において心理学全体における発達心理学の位置づけについて学び、1年後期に「発達心理学Ⅰ」において胎児期から児童期までの発達心理学を学んでいる。以上のことを踏まえて、本講義「発達心理学Ⅱ」では、青年期から老年期までの発達心理学の講義を行った。また、心理学系科目は選択科目であることから、一部学生は「心理学概論Ⅰ」「発達心理学Ⅰ」を受講していない場合もあるため、それらの授業でも出てきた主要な理論についても言及しながら解説するよう努めた。</p> <p>青年期以降の発達であるため、専門職として必要な学びと共に、学生自身が社会とのつながりや身近な人との関係、自分の将来について考える機会を提供できるよう授業計画を立てた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均点は90.6点であり、90点以上の者が57.1%、80点～89点の者が42.9%であった。すべての学生が標準レベルの学力を修得することができた。</p> <p>学生の到達度自己評価では、「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「課題を検討する力を得ることができた」の平均値が4.0であった。また、「的確に判断する力を得ることができた」「学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値は4.2であった。さらに「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値は3.8であり、概ね学生も目標を達成した実感を持ったと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は、1年後期の発達心理学Ⅰの後に続くものとして、2年前期に設けられている。</p> <p>発達心理学Ⅱは「青年期、成人期、老年期」の発達心理学を学ぶものであり、人間理解の科目として、実習前に設置されていることは妥当であると考えられる。</p> <p>学生も概ね苦勞なく取り組めており、授業内容としても2年次前期にふさわしい内容になっていると考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>テキストに沿って進めたが、不足する情報は適宜プリントして配布した。説明には、パワーポイントを用いて、視覚的に整理され分かりやすく伝わるように工夫をしている。授業の質評価では、平均値が4.0～4.3であり、概ね評価されていると考えられる。</p> <p>毎授業後に小レポートの提出を求めたが、殆どの学生が授業内容を自分自身の経験や身の回りの他者から得た情報、これまでの知識等の具体的事象と適切に結び付けて考察することができており、これは関心意欲を表現するだけでなく、授業内容の復習にもつながったのではないかと考えられる。</p> <p>今年度は遠隔授業であったが、「習ったところを復習した」「分からなかったところを読み直してみた」「気になったことをインターネットで調べた」など、50%の学生は自発的学習に取り組むことができていた。課題以外に取り組んでいない学生も「復習程度しかできなかった」と答えており、各学生で授業の中身をまず第一に、さらに自分の学習度に合わせた取り組みができていたと考えられる。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね達成できた。</p> <p>全ての学生が単位修得することができた。関心の高い学生の受講により、遠隔授業下でも高い成果を上げることができた。</p> <p>来年度も引き続き受講生の特徴を踏まえながら、授業内容の向上とともに、質疑応答がしやすい授業環境を提供できるよう工夫していく。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
カウンセリング論	2	前期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機によると、本授業は、「関心のある内容である」とした学生が100%、「単位数を確保する」とした学生がともに66.7%、「資格取得に必要である」50.0%、「友人が履修している」とした学生が16.7%であった。</p> <p>本講義は、2年前期開講科目である。学生は1年の間に「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」において心理学の基礎知識について学び、1年後期に「臨床心理学概論」において臨床心理学の基礎知識を学んでいる。臨床心理学では理論と実践が絶えず影響を及ぼし合うことを重視する。本講義「カウンセリング論」では、臨床心理面接の基礎となるカウンセリング理論についての講義を行った。</p> <p>本講義は今年度から開始される新設科目である。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均点は91.0点であり、90点以上の者が50.0%、80点～89点の者が50.0%であった。すべての学生が標準レベルの学力を修得することができた。</p> <p>学生の到達度自己評価では、「自分なりの目標を達成した」の平均値は3.8であった。概ね学生も目標を達成した実感を持ったと考えられる。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値は4.0であった。それ以外も3.5以上の平均値であった。</p> <p>「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」について「少しそうでないと思う」と答えた学生がいたが、本科目は講義であり、まずは基本的な考え方を理解してもらうことに比重をおいていたが、一部理解のために模擬面接や議論の時間を設けたため、自信を持ってないと感じられたことがあったことが考えられる。この点については、4年次の「カウンセリング演習」の履修にて評価が上げればよいと考ええる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は、1年後期の臨床心理学概論の後に続くものとして、2年前期に設けられている。</p> <p>カウンセリング論は臨床心理学の一分野であり、対人援助理論の科目として、実習前に設置されていることは妥当であると考えられる。</p> <p>学生も概ね苦勞なく取り組めており、授業内容としても2年次前期にふさわしい内容になっていると考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>テキストに沿って進めたが、不足する情報は適宜プリントして配布した。</p> <p>授業の質の評価としては、平均値は4.2～4.5であった。</p> <p>学習の範囲や課題が明らかでない、評価基準が明らかでないと答えた学生がおられたが、これは本講義は今年度新設科目であったため、授業を進める中で学習内容を追加したり、学生の受講状況や受講態度によって進度を調整したりしたことによるかもしれない。来年度は、学生が見通しをもって学べるよう、今年度の授業内容を踏まえさらに工夫していきたい。また、教員に積極的に質疑があれば申し出るよう、声をかけていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね達成できた。</p> <p>全ての学生が単位修得することができた。</p> <p>来年度も引き続き受講生の特徴を踏まえながら、授業内容の向上とともに、質疑応答がしやすい授業環境を提供できるよう工夫をしていく。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	浅野 嘉延

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
医学総論	2	前期	必修	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>医学・医療に関する基本的な知識は、福祉の仕事に必要なだけでなく、自分自身や周囲の人の健康管理にも重要です。主要な疾患にポイントを絞って、社会福祉士の国家試験問題にも関連させて、できるだけ簡潔に解説を行いました。授業中に折に触れて、「福祉の仕事の尊さ」「命の大切さ」にも言及したつもりです。</p> <p>遠隔授業でしたので、スライドの画面共有と併せて、病気の症状などを人形で説明するなど工夫をしました。</p> <p>また、授業評価アンケートの受講動機をみると、「必修科目である」「資格取得に必要である」が大多数ですが、1/3以上の学生さんが「関心のある内容である」とも答えています。受講後の自由記載では「ドクターならではの現場の話が聞いて良かった」などの意見もあり、講義をとうして医学・医療に興味をもって下さったことを嬉しく思います。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>期末試験と授業貢献度を加味した最終成績の平均値は91点（最高100点、最低点60点）でした。秀：40名、優19名であり、理想的レベル（80点以上）に到達したひとは全体の79%でした。全員が60点以上で、標準レベルに到達したと判断しました。</p> <p>遠隔での試験で教科書持ち込みとせざる得ないため高得点となったことありますが、福祉学との直接的な関連が乏しい領域にもかかわらず学生さんが一生懸命に勉強した結果だと思えます。また、授業後に多くの質問をしたり、授業態度も良好でした。</p> <p>授業評価アンケートの到達度自己評価をみると、いずれの観点においても「ままそうだと思う」以上の達成感を示す回答が大多数です。皆さんが真面目に勉強した表れだと思えます。コミュニケーションや表現力に関する自己評価の達成度が比較的低いのは、座学の系統講義であるのでやむをえないところもあると考えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は福祉学科の「専門教育科目」のうち「保健・医療関係科目」に属します。医学・医療に関する基本的な知識は福祉の仕事に必要です。社会福祉士の国家試験にも医学・医療に関する問題が出題されます。</p> <p>学生さんの受講態度、試験の結果、到達度自己評価などからみて、カリキュラムマップ、DP、CPにおける位置づけからみて、内容的妥当性に問題はないと考えます。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの授業の質評価をみると、大部分の項目で「まあまあそうだと思う」以上の評価を得ています。前年度に好評でしたので、毎回の授業後に質問を提出して貰い、次回の質問に対する説明をするように試みました。それでも、学生の授業参加の項目で評価が低いのは今後の課題であると考えます。</p> <p>授業評価アンケートの学習量をみると、30分程度の予習復習を2回以上行っている学生さんは回答者の半数以上でした。</p> <p>インターネットを利用して勉強した学生さんも多く、積極的に頑張って取り組んでいたことが分かって感心しました。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は福祉学科の学生さんにとっては馴染みが薄い内容であったと思いますが、皆さんが興味を持って積極的に取り組んでくれました。</p> <p>大多数の学生さんが標準的レベルに到達することができました。</p> <p>今後の福祉科目の勉強や、将来に福祉現場で働くときに、自分自身や周囲のひとの健康管理を考えると、本科目で学んだことを活用して貰えれば嬉しいです。今年度も福祉学科の学生さんに講義が出来たことに感謝しています。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	安達 泰弘

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
解剖学	2	前期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 貴学においてはじめて講義を担当すること、また今までに担当したことがない学科での講義であったため、内容の吟味が不十分であった様に思われる。複雑で覚えるべき名称が極めて多く、身体構造に加えて生理機能まで学習するため、出来るだけ簡略化し平穩な解説と全体像の理解を目標とした。学科の特性から受講動機にある「必修科目である・資格取得」については予想していたが、「関心がある」学生も3割程度存在することから、今後は、将来的に現場で起こりうる事象とその対処方法等について、講義内容に基づいた解説ができれば良いと考えている。</p> <p>② 講義で示すスライドはPDF資料として編集・配布し、予習できるようにした。</p> <p>③ 補講を実施する際は、当該講義内容に関するレポート作成・メール添付（自由書式のファイルまたは画像）で提出を指示したが、次回以降は記入用テンプレートを作成し、ダウンロードして使用してもらおうのが良いかもしれない。</p> <p>③ Google Formによるネット終講試験を実施した。個人的には初の試みである。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>① 終講試験までに「人体構造の全体像を把握すること」に努めるよう伝えており、終講試験の平均点が84.10点で再試験対象者は0名であったことから、当初設定していた「全体像の把握」は、8割程度達成されたものと思われる。</p> <p>② 基本的に一方的な知識伝達であるため、最終的には各自の自己学習が重要になる。「学習量の評価」からは、あまり予習・復習に精を出していた様子は伺えないが、到達度自己評価に示されるように、多くの学生が講義内容や興味を抱いた点について自発的に調査・学習した結果、再試験対象者が0であった。</p> <p>③ 授業記録については、事前配信のスライド資料に書き込んだ学生が殆どであるようだが、これは予想通りであった。</p> <p>④ 情報検索については、図書館利用にもある通り、殆どがインターネット利用であろう。初回はまず教科書を読むように指示しており、従う学生は少ないであろうが大きな問題ではないと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見た内容的妥当性 本科目は選択科目であるが、受講動機にあるように受講者の80%は資格取得に必要であるという、ほぼ必修に近いものである。しかしながら、受講者は終講試験でもかなり良い成績であったことから、内容的には妥当性が高かったと思われる。</p> <p>②DP、行動目標から見た内容的妥当性 上述のように、本科目は基本的に「一方的な知識伝達」であるため、相互に意見を交わし検討することは極めて稀である。このため、最初に到達目標を言葉で伝え、そこに収束するような内容構成とした事が終講試験結果に表れたと思われるため、講義内容として悪いものではなかったと思われる。</p> <p>③まとめ 以上のことから内容的には大きな問題は無かったと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>上述の通り、基本的にこの講義は「一方的な知識伝達」であるため、受講者が身体構造のイメージを構築できるか否かが大きなポイントになる。しかしながら、受講者にとっては覚える項目が多すぎるため苦勞したことは想像に難くない。次年度からは更に内容を吟味し、より理解しやすく、人体構造のイメージを構築しやすいような構成にしたい。また、授業以外に勉強しなかった理由として「何をしたらよいかわからなかった」受講者もいたことから、どのようなことに重点を置くべきか、或いは友人と共同で理解を深める等の学習方法がある程度明確に示すことも必要かもしれない。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>選択科目でありながら、受講者にとっては実質的な必修に近いという実情から、講義内容の構成には注意を払ったつもりであったが、膨大な量の知識習得を必要とすることから、さらに内容を吟味し絞り込む必要があることが分かった。しかしながら、当初から明示していた人体構造の概略については、終講試験の結果から、かなりの部分で達成できたと考えられる。 次年度からは、解説する各章ごとの到達目標を明示し、できる限り正確かつ簡略化した形で知識伝達を行う工夫を中心に改善していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域保健学Ⅱ	4	前期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習（病院実習）、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては「資格取得に必要である」86.4%、「必須科目である」45.5%、「関心がある科目である」9.1%であった。授業では、地域保健学Ⅰで学んだ知識を基礎に、できるだけ具体例を示し、グループワーク、ロールプレイ等を取り入れ、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②地域保健学Ⅰで学んだ知識を基礎に、知識を表現するためにグループワークを取り入れ、学んだことを発表し、知識の定着を行った。また、養護実習との関連から、健康相談についてグループで演習を行い、教育の現場での実践化につなげる教材の工夫を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は 80.0点 (±8.1) であった。理想的レベル(90点以上) 3名、(80点以上) は、8名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識・理解に関しては、78.0%、思考・判断 90.0%、関心・意欲90.0%であった。授業で基礎的な知識の定着を図りつつ、グループワーク等を通して応用力の定着を図るよう授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては、知識・理解の観点平均値 4.2 (中央値4.0)、思考・判断の観点平均値4.3(中央値4.0) であり、到達度自己評価にはあまり差はないことが示された。関心・意欲は平均値 4.2 (中央値4.0) であった。</p> <p>学生が知識理解の観点において、基礎的な知識はある程度定着していると考えられる。さらに応用問題が出された場合に、基礎知識を活用し応用問題に対応できるように授業構造を改善していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は、「保健・医療関係科目」である。また、養護教諭一種免許状を取得するための「養護実習」の履修要件科目である。受講動機から見て多くの学生が「資格取得に必要なため」と86.4%が答えている。また、到達度自己評価では「知識を修正したり、新たに得ることができた」平均値4.2(中央値4.0)、「専門分野において学びを深めたいと、意欲を持つことができた」平均値4.2(中央値4.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」平均値4.1(中央値4.0)「自分が学ぼうとする専門分野の課題を検討する力を得ることができた」平均値4.3(中央値4.5)と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP, 行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て、知識・理解に関する達成度85.3%であった。基礎知識を活用し、応用問題に適応するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度は、できるだけ学校現場での実践がイメージできるように、具体的な事例を通して、実際の事例検討会のシミュレーションを授業の中に取り入れた。 さらに、基礎知識を定着できるよう、グループワーク等の演習を交え、実践できるような力を身につけることができるように授業を改善していきたい。 学生の意見として「採用試験対策と並行して授業内容を確認した」、「わからないところは調べた」、「自分分からないところを理解を深めようと勉強した」など積極的に授業に取り組んでいた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、養護教諭の一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識理解の面は概ね達成できたが、学校現場では臨機応変に対応することが求められる。基礎的な知識を定着させ、さらに学校現場で活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。また、事例検討会のシミュレーションをより効果的に授業内容に取り入れていきたい。 さらに授業内容について基礎的な知識の定着を図るとともに、復習課題を設け応用問題等の提示をし応用力の養成に取り組んでいきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎看護技術	3	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状資格取得に必要な科目であり、病院実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては、「資格取得のために必要である」と82.9%の学生が答えている。「関心のある内容である」が11.4%であり、目標ははっきりしているが、関心が低いという結果であった。そのため看護の基礎技術をできるだけ理解しやすいように講義を行った。授業において、実技のオリエンテーションを丁寧に行うことを心がけた。</p> <p>②基礎看護技術の技術の定着については、授業で学んだ知識や技術を学校現場や病院実習で実践できるために、知識や技能の定着ができるように丁寧な説明を心がけた。授業で学んだ実技の復習ができるように、実技の練習方法なども具体的に示した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は78.0点（±7.8）であった。理想的レベルに（90点以上）1名（80点以上）以上に達したものは12名であった。</p> <p>授業評価の指標については、学習の到達度評価の全体評価では、「自分なりの目標を到達した」と回答した学生は平均値4.0（中央値4.0）であった。「知識を確認したり、新たに得ることができた」平均値4.3（中央値4.0）、「自分が学ぼうとする専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.2（中央値4.0）などであった。</p> <p>対面授業の際には、実習室で感染対策を行い実技演習を行った。実技演習の際には、教員の手元が分かるようにカメラなどを使用し、丁寧な説明を行い、理解が深まるよう心がけた。</p> <p>今後は、基礎看護学実習室、模擬保健室を活用し、ベッドメイキング、バイタルサイン測定等の練習ができるよう工夫する予定である。</p> <p>また、学校現場の実践において、看護の基礎技術を応急処置等にもどのようにいかすのか、また、対人援助職としてどのように支援するのかということを課題ととらえ、授業内容を改善していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップからの位置づけからみて内容的妥当性 本科目は、「保健・医療関係科目」である。また養護教諭一種免許状を取得するための「養護実習」の履修要件科目である。受講動機から見て多くの学生が、「資格取得に必要であるため」と85.2%が答えている。また、授業評価の到達自己評価において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」平均値4.2(中央値4.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」平均値4.2(中央値4.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野で学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.2(中央値4.0)と答えている。また、学生も一定以上の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP、行動面目標からみての妥当性 成績評価から、知識・理解に関する達成度は、80.0%であった。授業で学んだ知識・理解の定着を図るよう、授業内容を工夫することから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価において、課題以外に取り組んだこととして、「学んだ実技の復習」、「授業でわからないところを調べた」、「授業内容を確認した。」などに熱心に取り組んでいた。</p> <p>学生の意見として、履修者の増加、感染対策のために教員や学生同士の距離をとることにより、「声が聞き取りにくかった」などの意見があった。特に実技の演習については、マイクの配置やカメラの位置、学生の席の配置などを工夫していきたい。</p> <p>実技の練習時間については、遠隔授業であったので、学生が十分技術の練習が確保できるように、看護臨床実習等の科目において練習時間を確保する予定である。また、学生が授業や実技の練習に取り組めるよう模擬保健室の施設を充実させ活用していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、養護教諭の一種免許状資格取得に必要な科目である。基礎的な知識・理解、意欲・関心、技能・表現についてはおおそ達成できた。また、実技演習についてはさらに工夫を重ね、わかりやすい授業構造の改善に取り組みたい。</p> <p>さらに、学校現場で生かすことができるような基礎的な知識や技能が習得できるように、授業内容の改善に努めてきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護臨床実習	3～4	後期・前期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、養護教諭一種免許状資格取得に必要な科目であり、病院実習、養護実習の要件を満たすための科目である。受講動機としては、「必須科目である」54.2%、「資格取得に必要な科目である」79.2%の学生が答えている。しかし、「関心のある科目である」12.5%であった。このことから目標ははっきりしているが、関心が低いという結果であった。</p> <p>②3年生の授業では、2年生での看護学の学習を踏まえ、病院実習における実践的な知識を身につけるために、解剖生理学の復習を授業に取り入れた。また、グループワーク等を取り入れ、具体的な事例を用いて授業を行った。</p> <p>③また、4年生の看護臨床実習では病院実習の経験を踏まえて、学校における養護教諭の実践に生かしていけるよう、学校現場で実際行う救急処置、保健指導などのグループワークなどを取り入れ知識理解の定着を確認し授業を行った。</p> <p>④救急処置の演習について、外部講師を招きAEDの使用手法など事例を通したシミュレーション演習を行い、学校現場の事故対応について実践的な授業内容を工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は84.0点(±7.4)であり、また、理想的レベル(80点以上)は、18名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識理解に関しては、83.0%、思考判断84.0%であった。技能・表現については、85.0%であった。さらに、授業で学んだ基本的なスキルを対人援助職として活用し、表現していくかを課題ととらえ、次年度に向けて検討していきたい。</p> <p>学生による授業評価においては、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」4.1(中央値4.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野について必要となる技術を身につけることができた」4.4(中央値5.0)であり、知識理解、思考判断についてはあまり差はなかった。また、到達度自己評価において、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深め意欲を持つことができた」平均値4.4(中央値5.0)、「職業選択の参考になった」平均値4.3(中央値5.0)と答えていた。</p> <p>今後は、授業で学んだ知識を専門職として表現できるような機会を授業の中で取り入れていくことが考えられる。そのためには具体的な事例を例示し、グループワークやロールプレイをさらに取り入れていくことを検討していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容の妥当性 本科目は、「保健・医療関係科目」である。また、「養護実習」の履修要件科目である。授業準備性の欄で示したように、受講動機から見ても多くの学生が「資格取得に必要であるため」と79.2%が答えている。また、授業到達度自己評価において「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」平均値4.2（中央値4.0）、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.4（中央値5.0）と答えている。また、学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標から見ての妥当性 成績評価から、知識・理解、思考・判断、関心・意欲、技能・表現ともに高かった。さらに、授業で学んだ知識・理解、思考・判断を授業で表現できるような、授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であると考え。また、学生の授業の課題以外に取り組んだこととして、授業内容を活かし、養護実習や教員採用試験の勉強、BLSの動画を見ての予習や復習、さらに解剖学の復習などに取り組んでいた。</p> <p>③まとめ</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生における授業評価については「養護教諭の職務全般についての学習」、「関連する技術の復習」、「応急処置や対応について」など積極的に学習に取り組む様子がうかがえた。また、授業以外に取り組んだこととして、「教員採用試験の勉強を行った」などがあつた。さらに、学校現場で養護教諭として実践に生かせるような具体的な事例を通して、グループワークやロールプレイを取り入れ授業内容の改善をしていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の意見として「病院実習を含めてたくさんの看護の知識や技術を学ぶことができた。」、「授業の中で発表する時間やグループで調べる時間があり学びが深まりすごくよかった。」などの意見があつた。 本科目は養護教諭一種免許状資格取得に必要な科目である。さらに、学校現場で専門職として臨機応変に対応できるような実践力と技術を習得できるよう、授業内容の改善に努めていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	東 泉

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
薬理学	3	前期	選択	はい	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度も福祉学科における薬理学の受講者は養護教諭をめざす意志のある学生が受講していた。このため薬理学の中でも養護教諭のために必要な知識を加えて講義内容とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 理想レベルに到達したのは63%であったが、幅があり可も15%であった。 薬理学の到達度自己評価は一昨年度より高く、学生はより自主的に学習出来ていたと思われる。 授業に参加するために予習をする学生は福祉学科全体では4分の1程度であるが、当該科目受講生の半数以上は予習をし、記録をとりながら講義を聴講してくれていた。 予習をした学生は毎回の小テストの結果も悪くなく、予習を促すことで理解度が深まっていたことが伺えた。 以上から概ね目標は達成されたと考える。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は「資格取得に必要である」が88%を占めた。</p> <p>DP1【知識・理解】のうち、CP【養護教諭として必要な専門的知識を身に付ける】を基本的な目標としている。</p> <p>・昨年は遠隔講義で、本年度は遠隔講義の日と対面講義の日があったので、昨年との比較は一概にできないが、学習到達度は上昇した。</p> <p>・また自由記述から、薬物療法に対する興味・意識が深まったことが感じられた。</p> <p>・以上から、内容的妥当性に問題はなかったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価に関しては、例年学生の理解度に幅があるが、今年は「説明はわかりやすいものであったか」が、昨年度とほぼ同じであった。</p> <p>昨年度からテキストをより平易なものに変更したが、シンプルな説明のためかえって補足説明が必要な点もあり、テキストとしてはもう一年使用してみて妥当性を検討する。</p> <p>一方で、学生自身による「学習量についての自己評価」では、予習復習をした学生は前回68-72%であったが、本年度は51-64%が予習または復習をしていた。</p> <p>学習量は昨年度よりも少ないが、一昨年度よりは多く、また学科平均よりは多かった。</p> <p>また、時間外に送られた質問にはすぐに回答できないことも多いため、質問時間を設けるなどして、講義内容についての疑問点はなるべく早く解消できるように対応したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね達成できていると思われるが改善点もある。</p> <p>学習量が以前より増加している原因のひとつにGoogle classroomの時間内、時間外の利用が考えられるため、次年度も、学習意欲がそれほどなくても、気軽に学習できるようなGoogle classroomの利用を考えるとともに、学生の学修状況の把握をしながら講義を進めていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健学	3	前期	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する必須科目、かつ教職の必須科目であることから、他の受験資格科目と、教職科目との関連性を考慮して講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、1、2年次での開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明し、教職課程における本講の重要性を述べた。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、定期試験の件、社会福祉士の実習期間に伴う補講の件（結果的に実習自体が延期になったが）、理解を深めるための専門職能団体のWebでの研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、関連キーワードの確認テストを行ったり、前期のみの講義で、28コマあること（週に2コマ）から学習状況確認のために、14回目に中間的な小テストを行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p> <p>なお、今年度に関しても昨年度同様に、全てweb講義での対応となり、学生の反応を直接確認することはできなかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていたと感じられた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が約4割を占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけではなく、教職との関連性も含め、幅広くメンタルヘルス全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、精神保健福祉士の国家資格を取得するためと、教職必修の科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、精神保健福祉士の受検資格は取得し国家資格も取得するけれど、精神方面には進まないという学生や、教職免許は取得するも、教育方面には進まないという学生の受講もあったが、メンタルヘルス領域に興味があるということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見での内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができる」の平均点が、他の項目より低かった。今年度も昨年度同様にWeb講義であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り昨年度以上に事例等の導入を引き続き検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を引き続き検討していくことを次年度の課題としたい。学術データベースの利用に関しても殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも引き続きの検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、引き続き指導を行いたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目、および教職必修科目ということで、精神保健福祉士養成レーンと養護教諭レーンの学生の受講が多かった。2年次での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、2年次に受講していない学生（養護教諭レーンや、メンタルヘルス領域に関心を持つ者）も受講していること（「精神疾患とその治療」に関しては、教職の必須別科目と重なってしまっていて受講ができていない状況あり）から、前半部分は2年次の復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めたと感じられる。次年度も引き続き予習復習に関して具体的な指示を出すことにしたい。Web講義ではあったが、対面講義同様の効果はあったものと思われる。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	藤和 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
公衆衛生学	3	前期	選択	いいえ	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①公衆衛生学は選択科目であるが、養護教諭資格取得に必須である。内容が幅広く、勉強意欲関心が重要になる。受講動機を見ると、「必須科目である」26.1%、「資格取得に必要である」87%で、「関心のある内容である」4.3%で、関心が低い内容であることを示唆するものであった。</p> <p>②初回の授業の最初に学習準備のため、シラバスを用いてオリエンテーションを行った。予習・復習について説明を行った。</p> <p>③授業で使用する資料を配布し、できるだけわかりやすい内容とした。</p> <p>④授業中の学生たちの勉強意欲・関心を高めるため、授業中の質問や討論を増す必要がある。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①本試験の成績の平均値は87.5 (±6.4) 点であり、不合格者はいなかった。理想的レベル（概ね80点以上として試験を作成）に達した。</p> <p>②「自分なりの目標を達成した」と答えた者は100%で、知識理解、意欲関心については目標が達成されたと考えられる。</p> <p>③「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」と答えた者は100%であり、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」と答えた者も100%であった。</p> <p>④「図書館、インターネット利用」は非常に少なかったため、今後は課外課題を与え、図書館、インターネット利用を促進したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目、保健医療関係科目」であり、選択科目である。養教一種免許状に必須である。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識・理解、関心意欲については目標を達成した。今年はコロナ感染症の影響で対面と遠隔授業のハイブリッド授業だったが、対面で試験を実施した。内容は公衆衛生上重要である疫学調査、感染症に関する知識、対策及び予防方法、分野保健及び医療保険制度についてまとめた試験問題を作成し、学生の知識と考え方を評価した。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均が4.0で、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均が3.3であった。「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均は3.7で、授業の内容はよかった。また「説明は理解しやすいものであった」の平均が3.6であった。次年度に向けては、知識・理解の行動目標をより具体的に示した上で、課題解決型学習に力を入れて授業を進めたい。 学生の意見として、「様々な研究方法で疫学統計が行われていることを知りました」、「説明が難解だった」という意見と要望があった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>専門教育科目にあたる本科目の位置づけから、知識理解の面で課題は達成できたが、関心意欲については課題を残した。今後、公衆衛生学の仕事現場での重要性をしっかりと説明し、学生の関心意欲のさらなる向上を目指していきたい。 授業過程を振り返ってみたとき、授業中、質疑応答、発表の時間が少なかったことで、学生の積極的な発言など関心意欲を高めることができなかった。以上から、毎回の授業のねらいを具体的に示して、予習したかをチェックし、授業中の質問、応答、発表時間を増やして、学生の関心意欲を高める努力を行っていきたい。 講義スライド、配布物（授業の参考資料）に関しては、充実させ、来年度にむけて授業進度と内容説明について改善して行きたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育原理	1	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一年生ということもあり、受講動機は様々な選択がされていたが、基本的には、保育士資格取得のための必須科目であり、全ての学生がそれに該当する。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないため、授業準備においては、専門職として最低限必要な内容は必ず盛り込むことと、事例提示や取り上げるトピックについて受講学年の興味・関心に沿ったものを準備するようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価から、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」からも、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。専門職としての原理原則に関する知識理解を深める科目であり、成績評価が高いことから目標は達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士としての原理原則に関する知識教授を第一義とする講義系科目であることから、DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけは妥当なものであると考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>受講人数が少ないということもあり、比較的時間的な余裕を持って授業を進行できると共に、学生の反応を確認しながら授業を進行できることが、高い成績評価につながっていると考える。大学入学後初めての講義が遠隔授業ということで、かなり戸惑いがあったと考えるが、学生は意欲的に取り組んでいたと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。</p>
-------------------------------	----------------------------------

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育課程論	4	前期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目のため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないため、授業準備においては、専門職として最低限必要な内容は必ず盛り込むことと、事例提示や取り上げるトピックについて受講学年の興味・関心に沿ったものを準備するようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。授業中のプレゼンテーションについて、グループによっては、内容が十分でないグループが若干あり、やり直し等も行った。そのため、「意欲・関心」については、完全に「達成された」とは言えないが、大半のグループは質の高い発表ができていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、特に中・長期の保育計画について理解し、立案ができるようになることが最大の目標であることから、関連DPについては妥当であると考え。また、保育計画立案のためには、乳幼児の発達について理解していることが前提となるため、開講年次についても、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考え。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

長期計画の立案に関しては、基礎的な知識の教授後に実演を交えての課題として設定していたが、学生からの質問が非常に多く、講義の中で実演を予定より増やして提示を行った。結果として、学生の理解が進んだと考えられるが、来年度からは、さらに長時間の確保が必要と考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

特に長期計画立案については、長期に渡る家庭学習が必要であることから、授業評価アンケートの自由記述においても時間的な余裕の無さが多数確認された。とはいえ、保育士資格取得の上で特に4年制の保育士養成ということを踏まえると、就職後必ず必要となる内容であるため、教授内容を変更するわけにはいかない。また、時間的な余裕の無さについては意見が寄せられたが、先述のように成績評価上は概ね良好であるため、問題ないとする。今年度も学期当初から、家庭学習が長時間必要になるという説明はしていたが、来年度はさらに強調して説明する必要があると考える。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容 環境	3	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないことと、演習内容として栽培活動があるため、その点については変更しようがない。その他の教授内容については、事例提示だけでなく視聴覚教材を交えての教授を試みた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」からも一定の達成度は得られたと考える。ただし、シラバスの活用や、図書館利用については全くなされておらず、その点は授業開始時の説明や、課題提示の方法について検討する必要がある。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育内容に深くかかわる科目であると同時に具体的に「栽培すること」や「作成すること」といった課題があることから、関連DPについては妥当であると考えている。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

授業の進め方は概ね問題ないと考えている。本年度採用した視聴覚教材については、一部学生に居眠りが見られたことから、使用教材については再検討する。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。昨年度の遠隔とは違い、演習科目における対面の重要性を実感した。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容 人間関係	2	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育内容（人間関係）の重要性は社会が人間関係スキルを重要視すればするほど幼児期のこの分野での学習は大事である。単なる座学に終わることなく実際にワークを多く行い、また心理劇の技法を使った実際の保育の現場で遭遇する子ども同士のけんかやトラブルをどのように観察、仲裁をすればよいかを身体を使って学ばせた。この効果は大きかった。アンケートの自由記述にも好評化の記述が見られた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成の評価の根拠は定期試験の内容である。しっかりと授業者の求める論点（聞き書きの実践力）に従って書かれている学生が多く、授業者の意図をよくくんで内容を理解していることがわかる。（客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる）授業アンケートの集計結果も満足 of いくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

平和で幸せな地域の実現と、より良い社会の建設は教育の成否にかかっている。教職を目指す学生には良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むよう学生に求めてきた。シラバスに記載したように教育に貢献できる心理学的知見を紹介しながら「理想を失わない現実主義者」としての教師になる内容を出来るだけ厳選して授業に臨んだ。評価アンケートの結果をみるとおおむね達成できたと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

スマホ時代の真ん中にいる学生たちには言葉による講義だけでは集中力が続かないことは経験上理解している。その為に毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。アンケート結果をみるとこれは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話をききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試みてみたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年同様に概ね年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性と個別化を体現している現代の学生のニーズに対応してグループワークや発見学習など多彩な講義時間の運営方法の工夫とさらなる知恵を出していく必要性を痛感している。今回最後の学科生になる学生に今後の母校への愛校心を形成したいと思ったが概ね達成できたと思っている。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容 表現	1	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は乳幼児の「表現」について解説するとともに、他の「領域」との関連から見た「表現」内容を取り扱う。そのため、乳幼児の発達について、他科目との関連性を意識しながら、本科目を受講するよう、オリエンテーションで説明した。学生の受講動機は、「必修科目である」が100%であり、そのほか「関心のある科目である」が71.4%であり、自由記述に、「年代別の子どもの様子を調べた」と記述があり、授業内容の主旨が正確に伝わっていたといえる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の評価は、小テスト、レポート、発表内容で行った。トータルの成績平均は83点であり、全員が理想とするレベルに達した。授業評価の「到達度自己評価」は、10項目中、9項目の中央値が5.0であり、「授業の質評価」のすべての項目の中央値も5.0と高く、学生自身の評価および授業内容への評価が高かったことを示している。自由記述には、「とても楽しい授業でした」などの感想があり、学生がこの授業に対して良い学びを得たことがうかがえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

本科目は、保育士資格取得のための必須科目である。特に保育内容に深くかかわる科目であると同時に具体的保育指導案を立てることや模擬保育を行うための知識および演習課題があることから、関連DPについては妥当であるとする。本科目は実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

遠隔授業であったが、成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。授業進行における資料の表示方法については、今後も遠隔授業となる可能性があることから、さらに工夫の余地があり、学生の状況を踏まえて適宜検討が必要である。本科目は、保育科目における基礎的学習内容であるため、授業で獲得した知識をもとに保育現場を想定した演習内容となるよう工夫していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は、知識および技術の獲得を目標としている。遠隔授業では、知識については十分な内容を提供できるが、技術については面越しには伝わりづらいことが多いため、対面方式が望ましいと考える。今後の社会状況をみながら、対面での実施を検討したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護内容	4	前期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については87.5%が「資格取得に必要である」と回答しており、「関心のある内容である」と回答したのは1名のみ(12.5%)であった。2年次に履修した「子ども家庭福祉論」や3年時に履修した「社会的養護」が理論的基礎となる科目であり、これらの理解を踏まえての思考・判断する力を養う科目であるため、これまでに習得している知識の確認と修正補足を行うことを意識しつつ、授業を展開した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価の平均値は4.6～5.0であった。「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」においてはすべての学生から「かなりそうだと思う」との回答が得られた。教育目標は達成されたものと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は子ども家庭福祉コースの保育士資格取得のために必要な科目であり、大部分の学生の受講動機は「資格取得のため」であり、受講動機としての授業に対する関心は高くはなかったが、授業への取り組み、達成状況においては大きな成果が得られた。内容的には妥当であると判断できる。</p> <p>②DP,行動目標からの内容的妥当性 それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は4.9～5.0であった。遠隔授業であったが、事例検討や支援計画の作成においては、事例の基本情報の確認、疑問点や注目した部分をオンライン会議形式で共有することとした。他の学生の意見から気づきを得たり、刺激を受けてさらに議論が活発になることも多くあり、学生同士の学び合いに支えられて授業の内容を深めることができたと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成度自己評価の結果と学生の授業への取り組み状況や提出物などから、本科目の教育目標は達成されたと考える。アセスメント・プランニング過程における課題検討力を養うことに特に重点を置いて授業を展開したが、ケースカンファレンスを模擬的に行うことがもたらした学習効果についても検証し、今後の授業運営に活かしていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	節原 香智美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
学校保健	2	前期	選択	いいえ	42

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度は途中から遠隔授業になったため、学習準備として、事前に授業で使用するPowerPointや補足資料をPDF化してクラスルームに掲げる等の工夫を行った。</p> <p>また、授業の後半(5回)は対面授業に戻ったので、レポート発表(2グループ、21名ずつ)を設け、健康教育の現代的課題について、自分なりの考えをまとめ、それを発表する活動を設定した。互いの発表を聞きあい、それを評価する活動を通して、思考判断や意欲関心を高めていった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>○再試対象は0名で、全員が標準的レベルに達したと思われる。</p> <p>○目標別にみると、思考判断では、自分が見出した課題を解決するための方法を考える際に、知識をどのように活用するかを問うものであり、課題を解決するための方法についての理解が不十分であったと思われる。本年度は、学校保健や養護教諭像が具体的にイメージできるように、私自身の経験等を紹介しながら授業を進めて行ったが、まだまだ不十分であったと思われる。次年度はさらに工夫したい。</p> <p>○学生による授業評価においては、授業準備0回が25%、1回(回答無し, 1～2回)が16.7%と合わせると40%を超える。また、復習をあまりしていない学生は、0回が12.5%、1回(回答無し, 1～2回)が29.2%と合わせるとこちらも40%を超えていることから、授業への意欲関心を高めることが不十分だったと考える。学習意欲を高めるための工夫をしていきたいと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機では、「資格取得に必要である」が最も多く、次いで「必修科目である」と、受動的な動機ではあるが、「関心のある内容である」も41.7%と3番目に高い動機である。</p> <p>②学習到達度自己評価では、ほとんどの項目で「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えた学生が多く、平均値も全ての項目で4.0以上を示している。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○授業の質の評価において、全ての項目で平均点が4.2～4.3であった。また、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた。」の平均点が4.2だったことは、今回、課題に対し、自分なりの考えをまとめ、パワーポイント等を使い発表するという活動が評価されたと考える。</p> <p>○学習量の評価では、事前に授業資料等をクラスルームに掲げていたにも関わらず、1回30分以上の準備をしてない学生が25%、1回が16.7%と全体の40%いたことは、残念である。授業後の感想（コメント）や質問の状況等から、学ぶ意欲のある学生と、そうでない学生の差が激しく、それが授業準備や復習等に現れていると思われる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>○本年度は、途中から遠隔授業となり、途中から授業の構成変更を余儀なくされた。新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、次年度も遠隔授業の可能性があると思われる。遠隔授業で、学生と授業者及び学生同士の学習形態及びコミュニケーションをどのようにとっていくかが課題である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅰ	3	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得を目指す学生のみが履修しており、2年次に履修した子ども家庭福祉論をベースに対面授業では、視聴覚教材を用いて実際の社会的養護場面を視聴することで社会的養護の実際について想像力を高めることを意識した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>教材として教科書を使用せずに教員の準備した資料で授業を展開した。最終確認テストの結果から、学生間の理解度のばらつきが大きかった。授業の中で、重要な点や学生に考えてほしい点など提示したが、知識理解の点で不十分であった。十分な方向付けができていなかったのかもしれないため、導入部分から工夫する必要があるのかもしれない。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

内容としては妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

社会的養護の対象者について具体的なイメージを持っていない学生に対して、どう現実を知らせていくか、そこから展開される援助をどうイメージして掴むことができるかを導くことが授業の課題である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

最終的なテスト結果を見て、理解度思索の点についてバラツキが大きく全体的な理解度向上が課題である。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの理解と援助	3	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>基本的には、保育士資格取得のための必須科目であり、全ての学生がそれに該当する。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないため、授業準備においては、専門職として最低限必要な内容は必ず盛り込むことと、事例提示や取り上げるトピックについて受講学年の興味・関心に沿ったものを準備するようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価から、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」から、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。とはいえ、新カリキュラム最初の講義であり、遠隔での実施ということで、学生の理解度の把握は困難であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけは妥当なものであると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

受講人数が少ないということもあり、比較的時間的な余裕を持って授業を進行できたが、先述の通り、遠隔での実施という点から、学生の理解度の把握が難しかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	田中 沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの健康と安全	2	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達であり、その中で4名が科目内容に関心があるという結果であった。</p> <p>そのため、専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう授業内容を構成した。非常勤という立場から、受講学生の普段の様子は開講まで正確に把握することはできないため、具体的な事例の提示、教科書の内容の実演を行い、机上の知識とならないよう配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の「達成度自己評価」から大多数が目標を達成できていると捉えており、成績評価においても概ね基準を満たしていた。特に、遠隔授業という慣れない中で、講義態度については概ね積極的であり、意欲的に参加していた。「学習量の評価」からは、予習・復習についてはもう少し期待したいところであるが、情報資源が希薄な中で、取り組もうとする姿は見取れた。毎授業ごとの小テストを行うことで、前回の授業の重点ポイントを整理したり、学生のこれまでの生活の経験から授業内容が理解しやすくなるように事例を用いての理論の解説を試みたが、全体として目標達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考えている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方については、今後の課題として学生と教員間でさらなる評価の共有を行うことで目的の共有が達成されると考える。一部成績下位の学生については、授業開始時に実施する小テストが全く回答できていなかったり、「学習量の評価」の復習時間の短さの通り、学習習慣が身につけていない学生が一部存在すると考える。これらの学生に対しては、教科書の内容解説や専門職としての事例提示ではなく、大学生である現在の状況に即した事例提示や学習意欲を高める授業導入が必要であると考えている一方で、科目教授内容の過密さから困難な側面もある。とりわけ遠隔授業という実施形態での演習系科目は色々な点で不足があると考えている。この点については、今後検討の必要がある。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>遠隔授業での演習系科目ということで、学習環境、実体験等不十分な点もあると思うが、資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標にしている本科目で、学生が目標達成に向け取り組んだ結果が自己評価・成績評価からも確認できることから、概ね目標は達成できたと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	田中 沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅱ	3	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達であり、実践現場についても十分とは言えないがそれぞれ実習で学んだことをさらなる学びに繋げようという意思も感じられる。そのため、講義形式で知識の伝達等に留まらず、演習の中で専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう授業内容を構成した。非常勤という立場から、受講学生の普段の様子は開講まで正確に把握することはできないため授業内での学生の興味・関心や技能・経験を把握することに努め、具体的な事例の提示、教科書の内容の実演を遠隔で行い、机上の知識とならないよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の「達成度自己評価」については大半が達成できたと考えているが、遠隔授業であった点、成績評価から全員が目標を達成したとは言い難く、「やや達成された」とした。課題に取り組む際に「図書館利用」「インターネット利用」については一部学生においては幅広いソースから学習の準備をしていたと判断できるが、学習準備性についても個人によって意欲・能力に差異があり、教員側が期待する学習量を満たす学生は一部のみの学生に限られた。資格取得のための科目という性質を考えると、受講意欲が低い学生も数名みられたが、学生が主体的に授業に参加したと思える割合を増やすことで意欲を持って授業に臨めるようになった学生も少なくなく、全体としての目標達成度は達成された部分が多い。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

一部成績下位の学生については、授業開始時に実施する確認テストが全く回答できていなかったり、回答する意思がないこともあり、学習方法が明確でないこと習慣が身につけていない学生が一部存在する。これらの学生に対しては、さらに具体的な学習方法の提示や、課題に対するアセスメントを行いながら、大学生である現在の状況に即した事例提示や学習意欲を高める授業導入が必要であると考えられる一方で、科目教授内容の過密さから困難な側面もある。とりわけ、遠隔授業ということもあり、意欲において差が出やすかったことが考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標にしている本科目で、成績評価と学生が目標達成に向け取り組んだ結果として、概ね目標は達成できた。一方で、演習系科目において遠隔授業で実施であったため、十分な教授が行えたかは疑問が残る。授業内容や授業スケジュールなど、学生にとって見通しを持って学習ができるように情報の提示の仕方を工夫する必要がある。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容の理解と方法Ⅰ	1	前期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士に必要とされるピアノ演奏技術を習得するために1年前期に配置された科目である。ピアノ演奏技術は、演奏経験の有無が大きく影響する。授業開始前に、ピアノの経験の有無について把握し、授業開始時に初心者と中・上級者のグループに分けて、それぞれ個人レッスンを行った。初心者にとっては、演奏の上達および達成度を感じる事が難しいため、シラバスに使用教本の達成進度を具体的に示すことで、学生が目標を明確にすることができると考えた。授業評価の「受講動機」は、必修科目であるが、100%であり、資格取得に必要であるが83.3%であった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートにおいて、到達度自己目標の平均値は、すべての項目において4.0以上であった。授業の質評価の平均値は、すべての項目で4.0以上であり、授業内容への満足度が高かったことを示している。また学習量では、学生が授業時間外に1回30分程度のピアノの自主練習を週6回以上、行っており、技術習得に向けて自主的に取り組んだと考えられる。実技試験結果も良好であり、大半の学生は一定程度の技術レベルに到達されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は1年次開講科目であり、保育専門科目の受講に対する動機づけにつながるという点で重要な科目であると考えている。教育目標においてはピアノ奏法のレベルによる目標設定を行ったが、授業内容としては歌唱や人の前に立って表現活動を行うことを取り入れた。また、学習準備性において個人差が大きかったものの、授業への取り組み、達成状況においてはある一定の成果が得られたことから、内容的には妥当であると判断できる。</p> <p>②DP,行動目標からの内容的妥当性 それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>ピアノレッスンは個人レッスンであり、一人ひとりのレベルに合わせて指導することができるため、丁寧な指導が可能である。遠隔授業であったが、授業評価の到達度自己評価および授業の質評価の平均値はすべて4.0以上あり、授業の進め方については、特に問題はなかったと考える。「レッスンノート」を配布し、自分の課題を明確にすることで、練習および試験に向けた取り組みに役立つよう工夫できたと考えられる。演奏技術の獲得と学生が自ら音楽表現を楽しむことに重点をおいたことで、学習への意欲を向上させることができたと考えられる。自由記述には、ピアノ演奏の難しさを感じながらも、楽しく学べたことが記述されていた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成度自己評価の結果と日々の学生の取り組みの様子から、教育目標は一定程度達成できたと考えられる。しかし、実技であったにも関わらず、遠隔での指導を余儀なくされ、音のタイムラグおよび瞬時の双方のやり取りが難しく、十分な教授を行うことはできなかった。次年度は、対面での授業を行い、学生の習熟度を高めたい。本科目は1年時のみの開講であり2年次以降は個人の努力でさらにピアノ奏法のレベル向上に努めていくことが求められることから、学生の技術習得への意欲を高め、自発的な練習につながるようさらに工夫していくことを来年度の課題としたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容の理解と方法III	2	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された			達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価から全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」からも一定の達成度は得られたと考える。課題の質が高く、意欲的に取り組んでいたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育内容に深くかかわる科目であることから、関連DPについては妥当であるとする。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であるとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方は概ね問題ないと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

成績評価上も概ね教育目標は達成できているとする。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ソーシャルワークの基盤と専門職	1	前期	必修	いいえ	89

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験に関する科目である。特段、社会福祉専門職になるための基盤となる科目であり、本学科で非常に重要な科目であることから、動機付けを大切に講義している。</p> <p>第一回目の講義時に受講に関しての詳細の説明をし、シラバスに則って講義を進めた。講義の最初には、新聞等から毎時間必ず時事に関する話題を提供し、それが社会福祉専門職としてどのように捉えたらよいかを考えさせる時間を設けた。予習復習の内容の説明、理解しておくべきキーワード、実践につながるように専門職能団体の研修会案内等々も随時行った。リアクションペーパーに関しては、予習復習の時間の記入や、その方法、また本日の自己採点点数記入などを導入し、学習意欲の向上に努めるよう工夫した。また、今年度から新カリに移行し、前期がⅠ、後期がⅡとなり、それぞれでの評価をすることを説明した。</p> <p>なお、今年度に関しては殆どがweb講義での対応となり、学生の反応を直接確認する機会は少なかったが、リアクションペーパーの感想等にて、専門性の高い学習体制はとれていただけたと感じられた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員が合格領域に到達しており、標準的レベル以上に達成したものと考えられる。定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。また、遅刻や欠席がほとんどなく、定期試験の結果も理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけでなく、幅広く社会福祉専門職としての現状や考え方、障害福祉、精神保健福祉、貧困等々の多岐にわたる分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格を取得するための必須専門科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、社会福祉を学ぶための1年生で開講する基礎的科目であることから、福祉専門職に興味があるということで、非常に高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解は一定程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均点が低かった。必修科目であり、多くの人数が受講する座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討していき、次年度の課題としたい。学術データベースの利用についても殆どなされていない現状であり、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、指導を行いたい。毎時間、予習復習の具体的情報提供を行うことも続けていきたい。Web講義が中心であったが、更なる工夫をすることを考えていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目ということと、福祉学科に入学して初めての福祉の専門科目ということで、非常にモチベーションの高さを感じられた。また、今から開講される、社会福祉士や精神保健福祉士の関連科目とのつながりを考えて、思考が継続できるように教授を行った。次年度も、それらに引き継ぐような関連性を持ちながら講義を行いたいと考える。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回福祉業界の時事に関する資料配布し、その説明を行い、福祉専門職としての理解を深められたと感じられる。Web講義ではあったが、対面講義同様の効果はあったものと思われる。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学と心理的支援Ⅰ	1	前期	選択	いいえ	86

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必修科目である」69.8%、「資格に必要である」63.5%、「関心のある内容である」39.7%、「単位数を確保する」34.9%、「GPAをあげる」3.2%、「友人が履修している」9.5%であった。本科目は、今年度履修生より社会福祉士国家試験受験資格に必修の科目となったため、昨年度までと比べて「必修科目」「資格に必要」と答えた学生の比率が上がっている。</p> <p>1年次科目であるため、まずは資格取得科目として受講してみようかという学生が中心である。また、本科目は学生が初めて心理学の基礎的理論や研究に触れる科目であることから、できるだけ具体的な例を挙げて、専門性のある概念や言葉に親しみ、関心を深めるようにしている。</p> <p>毎回、授業前に前回の復習として、授業の流れを振り返り、繰り返し説明することで、知識の定着を図った。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は75.3点であった。80点以上の理想的レベルの者の割合は37.3%、60点～79点の標準レベルの者の割合は52.9%であった。再試験で合格した者を含め、97.6%の者は標準～理想的レベルの目標達成ができたと考えられる。</p> <p>学生の自己評価においても「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均点は4.4点と高かった。</p> <p>授業後の小レポートにおいて、積極的に授業参加する姿勢（態度）がみられたが、アンケートの「学びを深めたいと意欲をもつことができた」の項目も平均点は4.3であり、中央値は5.0であったことから、授業を通して学ぶ意欲を引き出すことができたことが伺える。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

本科目は、卒業必修ではないが、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験必修科目である。また、それらの資格に加え、養護教諭、保育士など対人援助職としての専門性を養うには、人のこころの理解は基礎である。したがって、1年次の心理学と心理的支援の学習は重要でかつ妥当であると考え。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」 学生の意見など

授業の質の評価において「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.1であり、教授内容を質、量ともに概ね適切に伝達することができたと考えられる。「詳しくてわかりやすかったです」という意見も得られた。

一部、受講生の中に「説明は理解しやすいものであった」に「全くそうではない」「少しそうではない」と思う方、「質問を受けつけ、答える機会が作られていた」に「少しそうではない」と思う方がおられたようである。今期は、対面授業による実施を基本としていたが、対面の日は授業が詰まっており、また一部遠隔授業期間があるなど、個別に相談に来ていただく機会が減っていた。学生の立場からすると、分かりにくい部分は、やはり対面で1対1でなければうまく分からなさを伝えることができなかったのではないかと考える。彼らには授業を補う学習の時間の提供が必要であると考えられるが、現時点では、オフィスアワーの活用を促していきたい。

予習復習をしていない学生は、39.6～47.6%であった。取り組んだ学生は「自分なりにノートをとめた」「復習ノートを作った」と復学習内容の定着を図ったり、「興味のある分野に関して調べた」「気になったことを調べた」「指定図書を読んだ」「心理学の本を読んだ」「心理学の本を購入した」など、学習したことさらに知識を広げる行動をとったようである。学生同士で積極的に学びの姿勢を共有し合うような声掛けを行ってきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目の目的とする基礎的知識の形成について、概ね達成できた。

一部学生に、自主的な予習・復習を行い、日々の授業内容について行くことが難しい学生がいたことから、今後そのような学生に対しても十分な学びを促していきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教職概論	2	前期	選択	はい	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①オンライン講義となったために、説明用のパワーポイントを作成した。パワーポイントは講義に集中させることを目的としたので、高橋メソッドという技法を用いた。</p> <p>②試験はオンラインで記述式を含む方式を採用した。オンラインの試験はなんとかできると感じた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①到達度自己評価はおおむね良好であり、まずまずの成果はあった。</p> <p>②しかし、試験の平均は53.4であり、多くの再試験受験者を出してしまった。一方で非常に好成績の学生もいるが、総じて今年度の学生の意欲には課題がある。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

教職課程の科目なので、問題はない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

オンラインに馴れてきたこともあって、まずまずであったと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

だいたい満足できた。課題については、来年度はないので、特に記述することはない。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育心理学	2	前期	選択	はい	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>平和で幸せな地域の実現と、より良い社会の建設は教育の成否にかかっている。教職を目指す学生には良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むよう学生に求めてきた。シラバスに記載したように教育に貢献できる心理学的知見を紹介しながら「理想を失わない現実主義者」としての教師になる内容を出るだけ厳選して授業に臨んだ。評価アンケートの結果をみるとおおむね達成できたと思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成の評価の根拠は定期試験の内容である。しっかりと授業者の求める論点に従って書かれている学生が多く、授業者の意図をよくくんで内容を理解していることがわかる。（客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる）授業アンケートの集計結果も満足のいくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

「映像は100の言葉に勝る」と思われる。スマホ時代の真ん中にいる学生たちには言葉による講義だけでは集中力が続かないことは経験上理解している。その為に毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。アンケート結果をみるとこれは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話をききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試みてみたいと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

昨年度の取り組みでもあったが学生が達成すべき目標を4点シラバスに記載しているが、授業のはじめに説明しておいたこともあり、学生の自己評価および授業者の目から見ても満足のものであった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年同様に概ね年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性と個別化を体現している現代の学生のニーズに対応してグループワークや発見学習など多彩な講義時間の運営方法の工夫とさらなる知恵を出していく必要性を痛感している。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	大庭 正美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3	前期	選択	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習指導要領における特別活動及び総合的な学習の時間の位置づけや特質、内容などについて基本的な知識理解を中心にしながら、小中学校での指導の実際についても取り扱い、実践的な態度の育成に資する授業に努めた。そのため、できるだけ実践事例の映像資料を活用していった。</p> <p>②授業の終末には授業内容を振り返り、シートに記入させるようにした。そこで出された気づきや疑問などを次の授業の導入で取り扱い、再確認できるようにするとともに、深い学びにつながるように努めた。</p> <p>③授業の内容に応じて、学生自身の学校での経験を想起させ、重ねて考えることができるように促した。そうすることで、理論と実践がつながりやすいようにし、就職後のイメージをもちながら学修できるよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業後の振り返りシートの内容及び試験の結果をもとに判定したトータルの成績において、70点以上を獲得した学生が38名中25名であり、そのうち80点台が6名、90点台が4名だった。また、到達度自己評価においては、ほとんどの項目（10中9）で平均値が4.0を超えており、すべての項目で学科平均を超えていた。特に（4）（6）（10）の項目では学科平均より4ポイント、（1）（2）（5）（7）（8）では2ポイント上回っていた。したがって、上記観点のうちDP1を「やや達成」、DP2、DP5及び全体を通しては「達成」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

卒業後、学校や家庭・地域の実態や児童生徒の傾向性を考慮して指導に当たる養護教諭をめざす学生にとって、学校経営や教科横断的な健康教育と密接につながっている特別活動及び総合的な学習の時間の指導内容は非常に重要である。したがって、学生には専門分野に限らず学校全体や教職全般への関心を持ち続けることが求められる。そのような意味から、学生の自己評価での項目の中でも、(6)「関心・意欲」や(10)「職業選択の参考」がひととき高い評価だったことは教職課程における内容としての妥当性は高いと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の質評価」においては、各項目の平均値がすべて学科の平均値を超えていた。特に項目の(5)は5ポイントも高かったが、その要因としては毎回の授業の振り返りを着眼点ごとに分類整理し、それにコメントを加えて次の授業の冒頭で共有する時間を設定していたことによるのではないかと考える。遠隔授業だったため相互交流がしにくい環境だったわりには成果が上がったと考えられる。

また、学校現場の実際場面がイメージしやすくなる映像資料を活用しながら授業を進めたことは、授業の質評価項目の(3)「説明の理解しやすさ」の評価にも繋がっていると思われるし、自由記述欄において「動画によって説明が理解しやすかった。具体的にイメージできた。」といった感想もあることから、今後もその点に関しては継続していきたい。

さらに、感想の中に「この講義では『教員になりたい』と強く思えることが多かった」というものもあったことから、今後の授業の中でも体験談や学校現場の実際について効果的に取り上げられるように工夫し、教職への志望意欲をより一層高められるように努めていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

将来、養護教諭をめざす学生であるため、特別活動においては健康教育との関連や保健指導との関連などを想定しながら授業を進めていった。特に、教育課程における特別活動の位置づけや役割など、特別活動の教育的な意義については繰り返し指導するように努めた。その結果、毎回の授業後の振り返りシートの記述などから、教職に対する意欲が向上していったことが読み取れた。

今年度は遠隔による14コマの授業であり、併せて新たに総合的な学習の時間の内容が加わったため、内容の精選・焦点化に努めたつもりだが、さらに精選・焦点化が必要であると反省した。次年度も、特別活動及び総合的な学習の時間の本質を的確に理解できるようにするとともに、教職課程の授業としてより実践的な資質能力態度が向上するように、一単位時間の授業展開に関してもさらなる工夫改善に努めていきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
特別支援教育論	3	前期	選択	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>開講時間数が7回の1単位授業のため、特別支援教育の理解に最低限必要な内容についてパワーポイントを利用して講義した。別途資料紹介を心掛けた。テキストについては副教材としての利用を勧奨した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	レポートの内容や授業で関心をもった内容についてのコメントから概ね達成されたと判断できる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

内容的には妥当であったと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

4 学科合同の授業であり、レディネスペースでは学科間で多少違いがあることを念頭に入れ、授業中にすべての学生ではないがそれぞれ学科の学生に確認しながら、解説した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

7時間の授業での制約を踏まえ、また授業中に紹介した資料等にアクセスした学生や自分なりに調べ学習を実施した学生のコメントから、すべての対象学生とは言い切れないが概ね理解が深まったと考えられる。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育方法論	3	前期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①後半におこなっている授業づくりと模擬授業の実施が受講生が多いためなかなか全員が実施することができない恨みがあった。今年度は前半の座学を後半の授業づくりと連動させることで精選し、後半の時間を確保した。そして、すべての班が教壇に上がれる機会を設けることにした。</p> <p>②模擬授業のための教材が一つだと飽きてくるという意見も多かったので、今年度は教材を小中にわたって多様な発達段階のものを準備した。</p> <p>③評価シートを改善し、相互批判の時間も確保するように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験の平均点は60.6であり、他学科に比して芳しくない。ただ、成績の得点差が大きいので、がんばっている学生の妨げにならないことを祈りたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

教職課程の科目なので問題はない

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

後半に模擬授業を入れることで学生の教職へのリアリティは増していると思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学修意欲の欠けている学生が少なからずいるので、なんとか目標を持って学ばせたい。来年のことは書かないでおく。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
道德教育の理論と実践	2	前期	選択	はい	43

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目であるため、学生の意識の上では準備がある程度なされていると考える。ただし、小中時代の道德教育の実施状況から考えて、非常に意識しにくい科目であると予想される。そのため本授業では授業実践としての道德教育を具体的な形で意識できることをひとつの焦点とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○2020年度 全体平均80.7、福祉学科平均81.8、秀32.4%、優43.2%、良10.8%、可5.4%、不可3.3%</p> <p>○2021年度 全体平均81.3、福祉学科平均81.9、秀28.6%、優52.4%、良11.9%、可7.1%、不可0.0% 標準偏差7.86</p> <p>○本年度は不可が0、可も3名のみと全体的に良い結果となった。データの散らばりも小さく、秀と優が全体の8割を占めた。他学科と比較しても優秀な成績であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目ということ、また従来型の理論偏重の道徳教育ではない実践的アプローチを採用しているということを鑑み、内容的な妥当性はあると考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○授業の進め方としては(1)道徳とは何かという理論編(2)日本の学校教育における道徳教育の位置づけ(3)学習指導案の構造と授業の実際(4)自分で道徳の授業を組み立てる、というものであった。 (3)と(4)に関しては同時並行という形になり、常に自分ならどのような授業にしたいかを考えて授業に参加することを求めた。 ○本年度は実際の学校現場で用いられている各種資料の参照、理解度を深めるための課題等について多様な形式を工夫した。 ○指導案作りに関しては、いくつかの段階を踏んで作成できるよう課題作成・提出を組み合わせた。 ○今年度は昨年度良好な結果であったオンラインによる課題の工夫を難易度や負担の観点から改善した。次年度が対面授業となった場合に同様の効果が得られるよう授業計画を行いたい。 ○児童生徒を意識した授業づくりの楽しさを一層感じることができる授業としたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>○達成状況は十分満足できるレベルにある。 ○次年度も全員合格かつできるだけ多くの学生が良以上の成績に到達できるよう、内容や方法を改善したい。今年度は動画の授業実践の視聴と検討に時間をかけたが、これは比較的理解を深めるきっかけとなったと思う。次年度も同様の試みを継続する予定である。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	福祉学科
氏名	渡邊 義隆

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生徒指導論	3	前期	選択	はい	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学生の授業評価アンケートによると、受講動機として「資格に必要」が89%となっており、教員免許や資格取得に向けた意識が高いことが推察される。</p> <p>②授業にあたっては、基本的な教育法規、特に生徒指導に関することを中心に学習させた。最も重視したことは学生が教師として教壇に立った時にすぐに必要となる対応・指導・その後の見守りを実際の事例を中心に授業を展開した。</p> <p>③今年度はリモート授業のため、グループ学習や発表等の授業ができなかったことは残念であったが、学生からの意見としては、授業に余裕があり、時間配分や記述する時間の確保ができ、学生からは好評であった。</p> <p>また、授業のまとめの提出を二日後にメールでの提出にしたため、学生とのやり取りもでき、内容が非常に良く充実したものになった。昨年度の反省であった、「次の授業に向けての準備、授業後の振り返り等を充実させたい」このことが達成できた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①（目標を達成した）の項目では、同科の受講生26名中「かなり」「わりに」「まあまあ」すべてが肯定的回答であった。このことから目標に達したと言える。</p> <p>②学生の（知識）（理解）に関する達成自己評価を見ると、それぞれ肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「7名、13名、6名」「6名、12名、8名」で100%であり、否定的回答は0名であった。このことから目標に達したと言える。</p> <p>③学生の思考判断に関する（検討する力）（判断する力）それぞれ肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「10名、8名、8名」「7名、12名、7名」で100%であり否定的回答は0名であった。このことから同様に目標に達したと言える。</p> <p>④同じく意欲関心に関する（意欲）では肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「8名、11名、7名」で100%であり否定的回答は0名であった。このことからすべての学生が意欲をもって授業に参加したと言える。</p> <p>⑤さらに技能表現に関する（技術）と（コミュニケーション、表現力）の習得では、肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「6名、14名、6名」「5名、11名、10名」であった。すべてが否定的回答であった。このことからほとんどの学生が技能表現を習得できたと言える。</p> <p>⑥（職業倫理）や（職業選択）での肯定的回答は、それぞれ「6名、15名、5名」「10名、10名、6名」で100%であり否定的回</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ①CPカリキュラムマップ上における本科目の位置付けから見ての内容の妥当性としては、教員免許の取得に向けた受講であり学生の志向に
応えるために、まさに現場の生の状況に触れることにより対応や指導を学ぶことができた授業であり妥当性があるものと思われる。
- ②「学習到達度の自己評価」ではすべての項目で肯定的な回答であり授業の到達度の目標が達成できたとと言える。
- ③自由記述では学生が教員を目指すに当たり良い職業選択ができるよう授業を進めてきたことから、担当教員への感謝の記述などをいただき
教員を目指して努力する姿に応援できるよう来年度に向けての励みになった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ①学生の担当教員への意見は「リモート学習であったため、途中で休憩を入れることによりリフレッシュでき良かった」との意見があった。
- ②授業の質評価についてはすべての項目で肯定的な回答となった。
- ③学習量の評価については概ね良かったのではないかと、学生がニュースや新聞等、特に教育関係の物に対して興味関心を持って調べたり事例
検討を行うなど学生が積極的であった。
- ④情報機器の活用はリモート授業のため度合いはわからなかったが、活用しやすかったのではないかとと思われる。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

総合評価として、担当教員への意見等を見ても感謝の言葉が送られ概ね良好であった。昨今、教師という職業は非常に大変である職業のよ
うに言われているが、子ども達の成長する姿、人生の一部分であるが関わることのできる素晴らしい職業であることを、学生に伝えること
ができたのではないかと総合評価を感じることができた。
来年度は学生が主体的に授業に参加できるよう考えてまいりたい。